

第43回秋田県優良工事表彰 第8回秋田県優良業務表彰



令和4年9月
秋 田 県



©2015秋田県んだッチ

表紙:第43回秋田県優良工事表彰から

上 : 釜田南谷地地区 農地集積加速化基盤整備工事 09502-K07

左下:地方道路交付金工事(改築) 02-HF35-10

右下:戸賀地区 緊急機能強化・老朽化対策工事 RD1113A131

第43回秋田県優良工事表彰式 第8回秋田県優良業務表彰式

とき 令和4年9月6日(火)

午後3時30分～4時30分

ところ 秋田県庁正庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 来賓祝辞 県議会議長
4. 表彰状授与(工事) 知 事
5. 表彰状授与(業務) 知 事
6. 受賞者謝辞(工事) 受賞者代表
7. 受賞者謝辞(業務) 受賞者代表
8. 閉式のことば



第43回秋田県優良工事表彰から

左上:蟹沢地区 復旧治山工事 RC1101A711

右上:河川災害復旧助成工事 02-KJ11-40

下 :地方道路交付金工事(改築) 02-HF17-30

目次

・お祝いの言葉	2
・第43回秋田県優良工事表彰及び 第8回秋田県優良業務表彰について	3
・第43回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・表彰工事の概要	6
・秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	42
・秋田県優良工事表彰要綱	43
・第8回秋田県優良業務表彰業務一覧表	44
・表彰業務の概要	45
・秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	56
・秋田県優良業務表彰要綱	57



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

秋田県優良工事表彰及び秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で43回目を迎えました。今回受賞された36件は、対象となる1,755件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成した工事であります。

また、優良業務表彰制度は、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度で8回目を迎えました。今回受賞された11件は、834件の業務から選定されたもので、いずれも豊富な知識と優れた技術により完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や産業活動を支える社会資本整備の担い手としてだけでなく、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災の担い手として、また、地域の経済と雇用を支える基幹産業として、大変重要な役割を果たしております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、建設ICT・IoTをはじめとした建設DXの加速化等による活動領域の拡大を支援するとともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営が図られるよう、若者や女性などの建設人材の確保・育成や、建設現場における生産性向上に向けた取組を推進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる皆様におかれましては、今後とも「ふるさと秋田」の更なる発展のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

第43回秋田県優良工事表彰及び第8回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事・秋田県優良業務表彰幹事長
秋田県 建設部 建設産業振興統括監
浅井 学

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目、そして15回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。

今回は、令和3年度に完成した工事の中から、36件を優良工事として表彰し、その内訳は、単独企業受賞が32件、共同企業体受賞が4件となっているほか、特別表彰として、受賞企業全37社のうち、今回初となる15回目の受賞として2社を、10回目の受賞として2社を、5回目の受賞として1社を表彰するものです。

これらの工事は、自然条件や施工上の制約が厳しい中、優れた技術力と創意工夫により工事を完成させているほか、品質確保や安全対策においても高く評価されたものであり、そのご努力に対し敬意を表するものであります。

また、業務については、平成27年度に、測量や調査・設計に携わる企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰を創設しております。

今回は、令和3年度に完了した業務の中から、11件を優良業務として表彰するものであり、これらの業務は、専門技術力や品質管理能力が特に優れているなど、他の模範となるものであります。

受賞された皆様には、今回の表彰を機に、建設ICT・IoTをはじめとした建設DXの推進に向けた積極的な取組や、本格的なメンテナンス時代に即応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められ、地域社会に貢献されますことを期待申し上げます。

第43回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
1	特別表彰 (5回)	小割沢地区 奥地保安林保全緊急対策工事 RA1108A111	鹿角市 八幡平	株式会社新東組	佐藤 弘毅	鹿角 地域振興局
2		地方道路交付金工事(改築) 02-HF41-K2	鹿角郡 小坂町 十和田湖	株式会社タナックス	葛西 秀正	鹿角 地域振興局
3		大滝沢線 森林資源循環利用林道整備工事 RB1204A221	北秋田市 桂瀬	奥山建設株式会社	奥山 隆雄	北秋田 地域振興局
4		県単河川改良工事(緊急償) 03-K162-20	北秋田市 阿仁小淵	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田 地域振興局
5	特別表彰 (15回)	地方道路改築補助工事 02-HF27-60	北秋田市 脇神	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田 地域振興局
6		蟹沢地区 復旧治山工事 RC1101A711	能代市 桧山	株式会社石川組	石川 和雄	山本 地域振興局
7		地方道路交付金工事(改築) 02-HF35-10	能代市 二ツ井町 荷上場	成田建設株式会社	成田 圭一郎	山本 地域振興局
8	特別表彰 (15回)	道路メンテナンス工事(橋梁補修) 02-F153-51	能代市 鍼淵～扇田	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本 地域振興局
9		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 02-F153-70	能代市 落合	アキモク鉄工株式会社	花下 智之	山本 地域振興局
10		高岳地区 農地集積加速化基盤整備工事 09103-K02	南秋田郡 八郎潟町 真坂	株式会社セコー	加藤 政之	秋田 地域振興局
11		戸賀地区 緊急機能強化・老朽化対策工事 RD1113A131	男鹿市 戸賀	宮原組・沢木組特定建設 工事共同企業体	宮原 竜也	秋田 地域振興局
12		五里合地区 農地集積加速化基盤整備工事 06206-K05	男鹿市 五里合	藤田建設株式会社	安田 張幸	秋田 地域振興局
13		家ノ後地区 緊急予防治山工事 RD1102A013	男鹿市 船川港椿	板橋組・北日本通商特定 建設工事共同企業体	板橋 広光	秋田 地域振興局
14	特別表彰 (10回)	地方道路交付金工事(改築) 02-HF32-30	男鹿市 男鹿中 浜間口	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田 地域振興局
15		地方道路交付金工事(舗装補修) 02-F144-K1	秋田市 土崎港南	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田 地域振興局
16		向浜ふ頭用地造成工事 02-Z401-K4	秋田市 向浜	(株)沢木組・(株)伊藤羽州建 設特定建設工事共同企 業体	沢木 則明	秋田港湾事務所
17		都市公園安全安心工事 02-UA35-10	秋田市 雄和 椿川	千代田電気工業株式会 社	小野地 慎一	秋田 地域振興局
18		環日本海クルーズ施設整備工事 03-O501-10	秋田市 土崎港	北日本通商株式会社	小松 弘之	秋田港湾事務所
19		秋田県(金浦漁場) 水産環境整備工事 33302-K01	にかほ市 金浦	長田建設株式会社	長田 史郎	由利 地域振興局
20		海岸防災対策工事(老朽化対策) 02-MR32-10	にかほ市 芹田	高橋秋和建设株式会社	高橋 敦	由利 地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない。

第43回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
21		地方道路交付金工事(改築) 02-HF17-30	由利本荘市 一番堰～上大野	村岡建設工業株式会社	村岡 兼幸	由利 地域振興局
22		森間地区 ため池等整備(ため池)工事 03504-K01	仙北市 田沢湖 梅沢	株式会社藤村組	藤村 志美子	仙北 地域振興局
23		罫田南谷地地区 農地集積加速化基盤整備工事 09502-K07	仙北郡 美郷町 罫田	株式会社小田島工務店	小田島 誠	仙北 地域振興局
24		内小友西部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09302-K11	大仙市 大曲 西根	有限会社県南開発工業	高橋 隆則	仙北 地域振興局
25		河川災害復旧等関連緊急工事 01-KE11-10	大仙市 協和 下淀川	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北 地域振興局
26		河川災害復旧等関連緊急工事 02-KE12-81	大仙市 協和 下淀川	株式会社斎兵組	齋藤 法	仙北 地域振興局
27		河川災害復旧旧助成工事 02-KJ11-40	大仙市 南外	株式会社小笠原組	小笠原 武男	仙北 地域振興局
28		前郷線 森林資源循環利用林道整備工事 RG1204A202	横手市 睦成	有限会社野崎建設	野崎 秋夫	平鹿 地域振興局
29		寄木地区 復旧治山工事 RG1101A201	横手市 大森町 八沢木	有限会社八伸建設	田中 義広	平鹿 地域振興局
30		河川災害復旧等関連緊急工事 02-KE20-90	横手市 大森町 上溝	伊藤建設工業株式会社	中村 清昭	平鹿 地域振興局
31		赤竹地区 ため池等整備(ため池)工事 03803-K01	雄勝郡 羽後町 上到米	株式会社小野建設	小野 雅敏	雄勝 地域振興局
32		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 03-F158-40	湯沢市 皆瀬 寒沢	株式会社山田塗料店	山田 進	雄勝 地域振興局
33		地方道路等整備工事(補修) 02-G708-10	雄勝郡 羽後町 西馬音内	株式会社菅組	菅 洋介	雄勝 地域振興局
34		県・市連携文化施設給排水衛生設備 工事	秋田市 千秋明德町	山二・羽後・沢木・互大特 定建設工事共同企業体	阿部 公雄	文化振興課
35		鹿角トレーニングセンター選手控え室 改修等工事 03-N120-10	鹿角市 花輪	小坂建設株式会社	工藤 繁夫	スポーツ振興課
36	特別表彰 (10回)	小和瀬発電所 大深ダム管理用道路改良工事 02-DK-81	仙北市 田沢湖 田沢	佐藤建設株式会社	田村 保	公営企業課 発電所建設室

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない。

1 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	小割沢地区 奥地保安林保全緊急対策工事 RA1108A111		
路河川名/地区名	小割沢地区	施工地名	鹿角市八幡平
商号又は名称	株式会社新東組	許可番号	05-001967
請 負 額	55,187,000 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 弘毅		
監理技術者等	現場代理人 綱木 守		
監督実施公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	池田 清光	監 督 員	小笠原 寿
工 期	令和 3年 3月31日～ 令和 3年12月17日	完成年月日	令和 3年11月24日
概 要	1) No. 10コンクリート谷止工 (L=38.5m H=6.50m b=1.50m V=587.4m ³) 2) 仮設道路工 L=284.5m W=3.60m		
特 徴	1) 過去に小規模な土石流が発生した急峻で狭隘な箇所における施工 2) 木製の残存型枠を使用したコンクリート製治山ダム		

写 真

No.10 谷止工(着手前)



No.10 谷止工(完成後)



◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該地は、急峻かつ狭隘な箇所でも自然的制約が大きいにも関わらず、急な設計変更にも柔軟に対応し、工期に余裕を持って完成させた。
- ・出来形管理やコンクリートの品質管理が優れているほか、工事関係資料も適切に提出されていた。
- ・地元の八幡平中学生の現場見学を受け入れ、建設工事や防災のPRに努めたことから、地域貢献の観点からも優秀である。

◆施工業者からのPR

- ・コンクリート打設において、配管の高低差30m延長80mの圧送管による打設であり、圧送管の閉塞が懸念されたことから、仮設道路を谷止工下流近くまで延伸し、平坦な作業ヤードを築造した事により、安定したコンクリート打設を行う事ができた。また、重機掘削作業や資材の搬入の際、周囲を見渡す事が出来るようになったため、安全に作業を行う事が出来た。
- ・当現場は冬期間になると積雪が2~3mに達する箇所である事から、10月末までに工事を終えなくてはならず、また、並行して行える作業がほとんど無い事から、工程を綿密に組む必要があった。そのため、作業員に工事内容を十分に理解させ、安全に作業を行う工法を検討した上で工程表を作成した。

2 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 02-HF41-K2		
路河川名/地区名	国道103号	施工地名	鹿角郡小坂町十和田湖
商号又は名称	株式会社タナックス	許可番号	00-000874
請 負 額	113,856,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 葛西 秀正		
監理技術者等	現場代理人 菊池 卓也		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	今野 正規	監 督 員	柴田 和幸
工 期	令和 3年 3月25日～ 令和 4年 3月25日	完成年月日	令和 4年 3月25日
概 要	1) 施工延長 L=294.7m 2) 道路土工 N=1式 3) フレキャストカーポート工 L=17m 4) 排水構造物工 L=599m 5) アスファルト舗装工 A=2,370m ² 6) 路側防護柵工 L=269m		
特 徴	1) 工事の進捗に合わせ一般交通の切り替えが発生する工事 2) 他工事との工程調整を要する施工区間		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 関連する工事、支障物件の移設工事等を含め8工区が現場内で施工を行うため、それぞれの工区との調整が必要でありながらも工期変更することなく、完成することができた。
- ・ 十和田八幡平国立公園内での工事であり、他県からの観光客も多く訪れることから仮設道路の碎石飛散防止のため乳剤散布等の養生を積極的に行い、走行性、安全性の確保に努めた。
- ・ 車線の切り替えが発生する工事であるため、特に夜間の混乱を防止するため、チューブライトによる交通誘導、仮設交差点照明を商用電源とし騒音、排ガスの発生を抑え環境に配慮している。
- ・ 毎月の社内現場パトロールへ社内の女性職員に参加してもらい、現場環境の改善を図っている。上記の理由から当工区を優良工事表彰へ推薦する。

◆施工業者からのPR

- ・ 施工区間は十和田湖に隣接した区間となっているため、来訪した観光客やドライバーの方々にもわかり易い案内看板等を設置し、日々コミュニケーションを図り円滑に施工した。
- ・ 同時期に同一工区で施工中の工事が当該工区のほかに7件あり、隣接する工事との工程調整を密に行い、工事を遅延なく無事故で終わることができた。
- ・ 毎月の社内現場パトロールのほかに、本社及び支店に勤務する女性社員による安全パトロールを2か月に1回実施し、女性の視点での点検結果を基に、現場環境の向上を図った。

3 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大滝沢線 森林資源循環利用林道整備工事 RB1204A221		
路河川名/地区名	大滝沢線	施工地名	北秋田市桂瀬
商号又は名称	奥山建設株式会社	許可番号	05-007830
請 負 額	41,509,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 奥山 隆雄		
監理技術者等	主任技術者 藤嶋 広美		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	千葉 智	監 督 員	松浦 忠英
工 期	令和 3年 3月31日～ 令和 3年12月17日	完成年月日	令和 3年11月19日
概 要	1) 林業専用道開設 L=321.2(372.3)m W=3.5m		
特 徴	1) 狭隘、急峻な施工条件下での工事		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は、急峻かつ複雑な林地内を通過することに加え、小半径のカーブが多く設定され、また、短い区間で縦断勾配が変化するなど、地山掘削や盛土施工においてオペレーターの高い技術力が求められる工事である。
- ・ 現場条件に応じて複数の建設機械を配置し、精度の高い掘削・盛土作業を行い、出来形管理、品質管理とも規格値50%以内に収め、工期に余裕を持って完了した。
- ・ 現場発生土を活用した土場施設（丸太置場）の造成や根株等を活用した簡易土砂止めの設置を提案・施工するなど、事業趣旨を十分理解しているとともに、開削経費節減にも貢献した。

◆施工業者からのPR

- ・ 狭隘かつ急峻な現場条件であり、また、掘削中に軟岩1Bが発生したことから、掘削作業の安全性、効率性を考慮し、それぞれの作業に適合した3種類の掘削機械（後方小旋回型バックホウ0.45m³、超ロングアーム仕様バックホウ0.40m³、1,300kg級プレーカ付後方小旋回型バックホウ0.45m³）を配置し、過掘を極力抑え規格値を遵守するよう作業を進めた。
- ・ 掘削土は、掘削段階において不良土（表土、軟弱土等）と良質土（軟岩、礫混じり土）に仕分けし、良質土は盛土材に使用、高盛土箇所には岩石系を投入して30cm程度の巻き出しによる転圧を行うなど、安定した路体の構築に努めた。

4 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良工事（緊急償） 03-K162-20		
路河川名/地区名	阿仁川	施工地名	北秋田市阿仁小淵
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	05-081727
請 負 額	99,629,200 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 小林 勇輝		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小塚 貴紀	監 督 員	小笠原 哲士
工 期	令和 3年10月 1日～ 令和 4年 3月28日	完成年月日	令和 4年 3月28日
概 要	1) 施工延長L=88.4m 2) 護岸工 1,061㎡ 3) 排水樋管工 1基		
特 徴	1) ICT土工を活用した掘削及び法面整形の施工 2) 同時期施工となる隣接工区との調整を要する施工区間 3) 厳しい気象条件の中での作業		

写 真

完成[下流から撮影]



完成[対岸から撮影]



◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事における河川土工はICT技術を活用しており、冬期間の施工であったが高精度で出来形や品質を確保する施工管理を行っている。
- ・樋管施工における品質低下防止措置やCIM活用、護岸施工における工夫、施工機械の使用装置への新技術の導入など、施工における様々な取組を行い、効率化や品質の向上を図っている。
- ・使用材料の納入遅延や降積雪などの状況に対応し工程を適切に管理し、隣接する工区との同時期施工に対する綿密な作業調整を行ったほか、近隣住民や漁協との丁寧な折衝によりトラブル無く工事を進め、完全週休2日についても達成している。

◆施工業者からのPR

- ・降雪期という厳しい条件下で河川土工、護岸工、排水樋管工が同時期施工となったため、作業間調整や工程管理、人員配置の見直しを徹底して行い、降雪期にあっても遅滞なく工期内で工事を完成させ、かつ、完全週休2日を達成した。
- ・安全対策として、女性職員による店社パトロールを取り入れたほか、バックホウ運転席モニターで重量を確認できるペイロードメーターの使用で過積載防止に努めるなど、安全施工を行い無事故で工事を完成させた。
- ・地域貢献として、秋田内陸縦貫鉄道小淵駅や春彼岸前の墓地駐車場の除雪などを積極的に実施し、地域とのコミュニケーションを図りながら施工を行った。

5 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路改築補助工事 02-HF27-60		
路河川名/地区名	大館能代空港西線(鷹巣西道路)	施工地名	北秋田市脇神
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請 負 額	104,303,100 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 細部 純弥		
監督実施公所	北秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	齋藤 直人	監 督 員	佐藤 博重
工 期	令和 3年 3月31日～ 令和 3年12月24日	完成年月日	令和 3年12月24日
概 要	1) 施工延長 L=285.5m 2) 掘削工 V=3,120m ³ 3) 側溝工 L=473m	4) アスファルト舗装工(車道部) 5) アスファルト舗装工(歩道部) 6) 置換工	A=2,880m ² A=1,000m ² V=650m ³
特 徴	1) 一般車両を通行させながらの交差点改良工事 2) 隣接工区等との綿密な調整が必要な工事		
写 真			
			
着工前		完 成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該現場は、鷹巣西道路「伊勢堂岱IC」から世界文化遺産「伊勢堂岱遺跡」へ至るルート上にあり、交通量が多いため一般車両を通行させながらの施工となったが、工期短縮等の生産性の向上を図るため、受注者希望型によるICT施工を実施し、余裕を持って工期内に工事を完成させた。
- ・受注業者内の女性従業員による現場パトロールを定期的を実施し、現場環境の改善に取り組んだ他、地元小中学生を対象とした現場見学会を開催するなど、建設業のイメージアップに大きく貢献した。

◆施工業者からのPR

- ・供用中道路の改築工事であることから、一般車両と工事車両を確実に分離させるため、迂回路の確保や照明灯などの安全施設増設、交通誘導員の増員にて工事期間中の安全確保に努めた。
- ・土工及び舗装工の作業効率の向上と省力化を図るため、ICT建機を活用したほか、ダンプトラック積み込み時に、各ダンプの最大積載量と積込土量が随時把握できるペイロードシステムを導入したことにより、生産性の向上と過積載防止対策を両立した。
- ・地元の女子小中学生を対象とし、高所作業車等の建設機械試乗体験やトータルステーションを用い「宝探し」と称した測量体験、モルタル左官体験などの現場見学会を開催した結果、参加者から非常に好評であった。

6 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	蟹沢地区復旧治山工事 RC1101A711		
路河川名/地区名	蟹沢地区	施工地名	能代市桧山
商号又は名称	株式会社石川組	許可番号	05-005004
請 負 額	68,093,300 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 石川 和雄		
監理技術者等	現場代理人 工藤 康成		
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	神成 猛	監 督 員	加藤 寛樹
工 期	令和 3年 3月31日～ 令和 3年12月17日	完成年月日	令和 3年12月 3日
概 要	1) 山腹工(水路工 374.1m、植生基材吹付工 2,385.4m ² 、植生マット伏工 2,664.6m ² 、3本筋工 1,015.3m、スギ植栽 1,295本) 2) 施設管理道 W=3.0m L=140.0m		
特 徴	1) 溪間工(令和元年度、コンクリート床固工)、山腹工(令和2年度、主に排土工・盛土工)から継続の治山工事(最終年) 2) 急峻な地形の地すべり対策として行う法面保護工事		
写 真			
<p>完成(3本筋工・スギ植栽)</p>		<p>完成(全景)</p>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、地すべり性山腹崩壊が発生した当該地区の対策工として水路工等の山腹基礎工、植生基材吹付工や植栽工等の山腹緑化工を実施した工事である。
- ・災害発生した斜面での施工であることから、法面動態観測を実施し安全を確認した上で作業を行った点や、現場までの狭小な道路について関係者への理解を得た上で仮設工を実施し、安全面にも細心の注意を払い無事故で工事を完成させた点が特に優秀であった。
- ・地域とコミュニケーションを図りながら、資材の運搬路として利用した農道の草刈りや側溝の泥上げ、道路補修を行った他、地区集会所周辺で行った清掃活動など積極的な地域貢献も他工事の模範となるものであった。

◆施工業者からのPR

- ・地すべり崩壊地での法面施工となることから、毎日作業前に定点で法面動態観測を実施し、安全性を確認した後に作業を開始した。また、雨水・湧水対策を十分に行う事で雨裂などによる手戻り作業の発生を防止し、急峻地形での難航作業は、仮設計画の工夫により作業性の向上を図りながら無事故で工事を完成できた。
- ・地元の関係者や土地改良区と調整を行い、大型車運行計画などの事前周知を徹底したことから、農道でのトラブルを発生することなく工事を完成できた。農道の草刈り、側溝の泥上げ、道路補修など積極的にボランティア活動を行い、農繁期には「地域住民ファースト」を徹底して、地域とコミュニケーションを図りながら工事を進め、苦情やトラブルは発生しなかった。

7 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 02-HF35-10		
路河川名/地区名	西目屋二ツ井線	施工地名	能代市二ツ井町荷上場
商号又は名称	成田建設株式会社	許可番号	05-081298
請 負 額	147,887,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 成田 圭一郎		
監理技術者等	現場代理人 嶋津 命		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	木場 俊明	監 督 員	松前 政勝
工 期	令和 2年 7月31日～ 令和 3年 6月30日	完成年月日	令和 3年 6月 3日
概 要	1) グミノ木橋P3橋脚躯体工N=1基(H=13.8m)、コンクリートV=331m ³ 2) 場所打杭工(φ1200mm, L=7.5m)N=9本		
特 徴	1) コンクリート構造物の品質向上への取り組み、長寿命化への配慮 2) 建設業イメージアップを図りながら、地域に密着した取り組み		
写 真			
			
施 工 中		完 成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 河川内における橋脚コンクリートの打設、養生において、冬期から春期と外気温変化が大きい時期の施工にあたり、凍結による初期凍害や硬化時の水和熱によるひび割れが懸念された。このため、当該現場条件を考慮した養生方法が必要とされ、ラッピング養生等各種対策による養生温度制御や、橋脚上部の梁部では応力解析結果を受け、ひび割れ抑制鉄筋を配置するなどし、有害なひび割れ発生することなく工事完成となった。
- ・ 現場内安全管理においては、労働災害ゼロが大前提である中で、安全意識高揚及び常時注意喚起を促すため、現場代理人による作業従事者への積極的なコミュニケーションや、高所足場等へのオゾン安全標識の設置により、無事故無災害で工事完成となった。
以上のことから、当該工事を秋田県優良工事表彰に推薦するものである。

◆施工業者からのPR

- ・ コンクリート構造物の奥深さにおいて、自らこだわりを持って追求し、良質で長寿命なコンクリート構造物、また完成後、数年・数十年先の維持管理コスト低減をコンセプトに各施工段階において発注者の協力も得ながら品質向上に努めた。
- ・ 地域貢献及び建設業イメージアップへの取り組みとして、広報活動や地元高等学校・振興局若手技術者の現場見学要請受け入れ、地域主催のイベントに積極的に参加するなど、地域に密着した取り組みに努め、苦情やトラブルもなく完成することが出来た。
- ・ 今後も進化し続ける時代に対応した技術研鑽と創意工夫で、地域社会への貢献に努める。

8 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 02-F153-51		
路河川名/地区名	能代二ツ井線	施工地名	能代市鹹淵～扇田
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-081607
請 負 額	70,041,400 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	監理技術者 松岡 啓司		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 順一	監 督 員	中山 英貴
工 期	令和 3年 3月18日～ 令和 3年11月30日	完成年月日	令和 3年11月26日
概 要	1) 橋脚耐震補強（高強度アラミド 繊維巻立て1式、RCt=250mm巻立て1式） 2) 落橋防止構造（RC縁端拡幅1式、鋼製ブラケット1式） 3) 水平力分担構造（緩衝バー1式、RC壁1式）		
特 徴	1) 鉄道線路を挟む橋脚補強等の工事で、JR近接工事 2) P7側の進入路は、使用中の農道 3) P8側の進入路は、墓地等が障害となり大型車両の進入が不可能		
P7			
P8			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本事業は、能代高架橋（橋長L=375m、橋脚橋台N=19基）の耐震補強等を行うもので、規模が比較的大きい事業である。
- ・当該工事は、事業着手初年度であり、将来の事業進行の目安、指標となる重要な位置づけの工事で、かつJR東日本の営業路線を挟んだ橋脚補修と施工条件が厳しく制約の多い工事であったが、複数回にも及ぶ関係機関との協議や、それに伴う施工内容の変更にも迅速に対応し、都度徹底した施工計画のもと、事故無く工期内に工事を完成させた。
- ・模型による実証実験を行った上での新技術提案など、よりよい現場とするための主導の姿勢も高く評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、JRを挟んだ橋脚2基の耐震補強工事であり、足場の組立、周辺道路整備、作業土工事などに制約を受ける工事であるが、施工中はJRとの打ち合わせを行い、JR工事管理者及び列車見張員を配置し、法面崩壊防止対策、架線接触防止対策を行うなど列車支障事故の防止に努めた。
- ・施工箇所がJRを挟んで2か所あり、最寄りの踏切を通っても往来に約1Kmと離れており不便であったが、トレ等の仮設備を両方に設置し、工事関係者の線路横断による列車との触車事故等が発生しないよう配慮するなど、施工上、広範囲への対応が必要であったが、地元（水利組合、墓地管理者、町内会）からの苦情・トラブルなども無く工事を完成させた。

9 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 02-F153-70		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	能代市落合
商号又は名称	アキモク鉄工株式会社	許可番号	05-006948
請 負 額	113,951,200 円	工 種 ・ 格 付	鋼構造物 A級
代 表 者	代表取締役 花下 智之		
監理技術者等	現場代理人 渡邊 慎也		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 順一	監 督 員	折田 宏平
工 期	令和 2年 9月25日～ 令和 3年 7月30日	完成年月日	令和 3年 7月30日
概 要	1) 水平力分担構造工（横梁＋水平支承2基） N=3組 2) 落橋防止装置工（ケーブル） N=4組 3) 橋台補修（ひび割れ補修、表面被覆塗装） 一式		
特 徴	1) 多工種における施工順序の調整 2) 現場条件に合わせた構造物の製作 3) 品質向上のための材料選定		
写 真			
			
全景(P4,P5)		水平力分担構造	落橋防止装置

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 水平分担構造（水平支承）のアンカーが、橋脚の鉄筋に干渉することが判明したため、アンカー位置や支承形状の変更を有する事となり、不測の日数を要した。しかし、適切な工程の組み直しや施工の工夫によって、工期内に遅れることなく完了した。
- ・ 原寸大の模型による入念なシミュレーションから、施工時の課題を事前に洗い出し、施工の工夫や技術提案等により、これを解消していくことで、工期短縮に大きく寄与した。
- ・ 通行規制に関しては、近接工事との調整や、必要最小限の実施に努めたことで、能代大橋に関する苦情は発生しなかった。
以上の理由から、他の工事の模範となる現場であり優良工事に推薦するものである。

◆施工業者からのPR

- ・ 鋼構造物の据付、既設支承の溶射、下部工補修など多工種の作業を施工順番を決め調整し、制約の多い桁下での作業でも安全に工事を完了することができた。
- ・ 原寸大の模型を作成し現場でのシミュレーションを行った結果、鋼構造物の製作工程の見直しや、追加マンホールの製作など、状況・形状に合わせ柔軟に対応することができた。
- ・ コンクリート表面保護塗装の施工に先立って、多数の巣穴や欠けに粒子の細かいガラス繊維配合のパテを使用し、塗装後の気泡発生を抑え外観・品質の向上に努めた。
- ・ 現場周辺の河川敷の清掃や除草作業に努めた。

10 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	高岳地区 農地集積加速化基盤整備工事 09103-K02		
路河川名/地区名	高岳地区	施工地名	南秋田郡八郎潟町真坂
商号又は名称	株式会社セコー	許可番号	05-005901
請 負 額	69,670,700 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 加藤 政之		
監理技術者等	現場代理人 畠山 孝治		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	高野 尚紀	監 督 員	泉 亮太
工 期	令和 3年10月 4日～ 令和 4年 3月28日	完成年月日	令和 4年 3月25日
概 要	1) 支線排水路工 L=349.0m 水路装工L=320.0m（大型フリームH1000×B2200mm） 町道横断函渠工L=20.0m（ボックスカルバートH1200×B2200mm）ほか		
特 徴	1) ほ場の排水不良の解消を目的とした排水路整備 （既設水路の撤去、大型フリーム及びボックスカルバート布設） 2) 生活道路の通行に配慮した排水路整備		
写 真			
着工前		完 成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、ほ場内の慢性的な排水不良を解消するため行うものである。排水路の整備は、既設区間と新設区間からなる。新設区間は、水田地帯特有の軟弱地盤の出現が予想され、工事後には営農を行う予定となっており、制約の大きい工事である。
- ・町道横断函渠工箇所については、軟弱地盤や湧水が出現したが、切土法勾配の変更や板状排水材を使用し迅速かつ適切に対応した。また、町道は、通行の安全確保が重要であるが、H型鋼ガードレールや夜間バルーンにより、視線誘導に配慮されている。
- ・こうした取り組みにより、事故や遅延等もなく予定工期内で完了させることができ、模範的な工事として評価するものである。

◆施工業者からのPR

- ・ボックスカルバートの埋戻し及び町道盛土において、湧水がある軟弱地盤への埋戻しのため、サイドドレン及び板状排水材を設置し処理した。路体部には既設町道掘削土（山砂）を再利用、路床部にはRC-40を使用し凍上抑制効果を上げ、盛土材は使用日に搬入し、雪等の混入を避け盛土の沈下防止をした。また、軟弱地盤であり不等等沈下が予想されたため、基礎コンクリートに補強短繊維を添加し曲げ矩を向上させ不等等沈下を防止した。
- ・大型フリーム曲線区間の据付において、測量機器（測量77°リ）を使用し従来の方法より精度を上げ迅速に施工した。

1 1 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	戸賀地区 緊急機能強化・老朽化対策工事 RD1113A131		
路河川名/地区名	戸賀地区	施工地名	男鹿市戸賀
商号又は名称	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	71,095,200 円	工 種・格 付	法面 A級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許 可 番 号	05-010808	監理技術者等	監理技術者 小西 満
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許 可 番 号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 船木 勝治
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	今川 順	監 督 員	成田 光明
工 期	令和 3年 3月29日～ 令和 4年 1月14日	完成年月日	令和 3年 9月27日
概 要	1)山腹工 A=0.15ha 2)法枠工 A=1,694.4m ² 3)簡易法枠工 A=358.6m ²		
特 徴	1)現場条件を踏まえた施工体制の構築による工期短縮 (3ヶ月以上) 2)出来形寸法を確保するための創意工夫 3)既設木製法枠撤去により発生した混合廃棄物減量化の取組		
写 真			
完成(山腹工)		完成(法枠工)	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、人家裏の山腹斜面において、老朽化した既設木製法枠工の撤去を行った斜面に現場吹付法枠工を施工し、斜面の安定を図るものである。
- ・施工地は、家屋が近接しており、既設木製法枠工の撤去、不安定土砂の掘削、運搬には十分な配慮が必要となるが、施工方法の工夫などで、大幅な工期短縮が図られた。また、完成後の出来形不足の解消や出来映えを考慮し、型枠器やスパーを用いた施工を行い、優れた施工管理であった。これらに加え、既設木製法枠撤去で発生した廃プラスチック混合廃棄物の処理にあたって、フォークラップルを用いてふるい分けを行い廃棄物の減量化に努めた点も優れている。

◆施工業者からのPR

- ・木製法枠撤去後の斜面状況を踏まえ、崩壊対策としてシート養生を行うとともに施工範囲を8パン分けし、地山の崩落や近接する人家等への土砂流出防止を図った。
- ・施工体制に関して、施工箇所と人家との間が狭隘で、また木製法枠の撤去により発生した混合廃棄物(根系と絡み合った植生土のう)の処理に日数を要することが想定され、小型建設機械の組み合わせと搬出方法を工夫して作業効率の向上を図った。
- ・これらの施工体制を構築したことで、作業員の労力軽減と排土能力が向上し、大幅な工期短縮に繋がった。また、地域貢献の一環として、現場付近に毛虫が大量発生していたため、地域住民の許可を得てから現場周辺の集落敷地内も併せて殺虫剤で駆除した。

12 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	五里合地区 農地集積加速化基盤整備工事 06206-K05		
路河川名/地区名	五里合地区	施工地名	男鹿市五里合
商号又は名称	藤田建設株式会社	許可番号	05-006585
請負額	109,060,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 安田 張幸		
監理技術者等	現場代理人 金谷 真一		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 則志	監督員	大西 将嵩
工期	令和2年9月11日～ 令和3年11月30日	完成年月日	令和3年11月22日
概要	1) 橋梁工 N=2橋 (1号橋L=9.2m、2号橋L=9.1m) 2) 基礎杭 φ406.4 N=16本		
特徴	1) 軟弱地盤への配慮が必要な工事 2) 特許工法を採用した工事 3) 水位変動が激しい河川への配慮が必要な工事		
写 真			
完成（2号橋）	EAZET工法 （鋼管杭回転埋設）	ボランティア活動 で地域貢献	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・現場周辺は軟弱地であり、基礎杭打設に関して周辺施設や構造物、農地への影響が懸念されたため、現場条件に適したEAZET工法（鋼管杭回転埋設）を提案するなど、施工上課題となる条件への対応が適切である。
- ・舗装フィニッシュに超音波センサーを使用し、舗装の平坦性の向上に努めるほか、コンクリート打設に関して工夫を行うなど、出来形及び品質管理向上への取組が顕著である。
- ・長期にわたり市道上で交通規制が必要となる工事であったが、重機や資材の搬入時は、確実な誘導と安全確認を徹底して作業を行った。その結果、無事故で苦情もなく工事を完成させた。
- ・現場周辺でのボランティア活動を積極的に行うなど、建設業のイメージアップを図った。

◆施工業者からのPR

- ・橋梁の規模は小さいが、特許工法で上下部一体型のI-ラーマン橋を2橋（下部工4基・上部工2箇所・護岸工）を施工する工事であった。当初設計の杭基礎工事では、現地条件下での施工において使用重機の組立等に制約があるため、より現場条件に適した工法を提案及び協議を重ね工法変更し工事着手に繋がった。
- ・協議や杭製作期間に時間が掛かり農繁期からの施工となったが、農道の通行を確保し農作業への影響を最小限にするよう配慮した。また、無振動低騒音の杭打機で施工することで、周辺施設（農業法人施設・河川等）にも影響を与えることなく施工できた。
- ・地元土地改良区と密に連絡を取り、農繁期であったが苦情やトラブルがなく工事を完成できた。

13 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	家ノ後地区 緊急予防治山工事 RD1102A013		
路河川名/地区名	家ノ後地区	施工地名	男鹿市船川港椿
商号又は名称	板橋組・北日本通商特定建設工事共同企業体		
請 負 額	51,442,600 円	工 種 ・ 格 付	法面 A級
代 表 者	株式会社板橋組 代表取締役 板橋 広光		
許 可 番 号	05-001354	監理技術者等	監理技術者 進藤 仁
(構 成 員)	北日本通商株式会社 代表取締役 小松 弘之		
(許 可 番 号)	05-003446	(監理技術者等)	主任技術者 菅原 利宏
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	今川 順	監 督 員	成田 光明
工 期	令和 2年11月13日～ 令和 3年 7月26日	完成年月日	令和 3年 7月26日
概 要	1) 山腹工 A=0.09ha 2) 法枠工 A=982.6m ² 3) 鋼製土留工 N=1基 L=11.5m		
特 徴	1) 狭隘な現道を利用した資材搬入及び残土運搬 2) 施工地と近接する寺院及び墓石等の防護対策 3) 作業中の斜面崩壊防止対策		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、豪雨の影響により山腹崩壊が発生し、斜面直下に位置する寺院に土砂が流出したことから、法切工、法枠工、土留工などの施工により斜面の安定化を図るものである。
- ・施工地までは、人家が密集し、アクセス道が狭く、また、斜面と寺院や墓地が近接しており、大型重機の搬入や法切土砂の搬出が困難な状況であったが、作業方法の工夫や人家や支障となる墓石等の養生に留意した施工に努め、トラブルも無く工期内に工事を完成させた。
- ・施工にあたっては、法切後斜面の風化、崩落対策としてシート養生を行うなど、安全対策に努めるとともに、適切な出来形管理が行われ優れた出来映えであった。

◆施工業者からのPR

- ・法切作業においては、斜面に多数の亀裂が確認されたことから、風化防止対策としてシート養生を行い、安全管理の徹底に努めた。
- ・施工箇所までは、人家が多く、また道路幅が狭いことから、資材運搬や残土運搬にあたって小型建設機械の組み合わせによる工事を進めるとともに、土砂の積み込みにおいてはステージを設置し、土砂の搬出を行った。
- ・今後も現場特有の作業条件を克服するため、最適な使用機械の選定を行うなど創意工夫に努め、地域社会に貢献していきたい。

14 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方道路交付金工事（改築） 02-HF32-30		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	男鹿市男鹿中浜間口
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請負額	122,305,700 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	監理技術者 二田 直人		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	高橋 縁	監督員	松塚 忠政
工期	令和 3年 4月 9日～ 令和 3年12月17日	完成年月日	令和 3年12月17日
概要	1) 施工延長 L=136.0m 2) 道路土工 1式 3) スラリー攪拌 1,122本		
特徴	1) 輻輳する他工区との工程調整 2) 現地土質を確認しながらの地盤改良 3) 優れた工程・工事管理(情報化・休日確保)		
写 真			
			
着手前		完成後	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事は、男鹿半島沿岸北部を縦貫する国道101号のバイパス工事の一部である。二級河川滝川を渡河する橋梁工事が既に着手済みで、全3工事の工事用道路が共用となる輻輳する現場条件の中、工程調整を綿密に行なった結果、無事故で工事を完成させた。
- ・最大切土高8mに及ぶ地山掘削（土砂・軟岩）、法面整形及び保護工をICT建機により精度良く完成させ、土壌に応じた法面保護資材を提案するなど、積極的に現場条件の把握に努めた。
- ・地山に隣接する軟弱地盤上の盛土に対応するため、スラリー混合による1,122本に及ぶ地盤改良工事を実施したが、GPS等を用いた打設位置及び改良深度の計測、効率的な施工計画の立案、経済的な改良材選定及び配合量決定など、効率よく現場の進捗を図る取組みが顕著であった。

◆施工業者からのPR

- ・積極的に情報化施工を行い、地山掘削や法面整形を効率的かつ精度よく施工した。
- ・地盤改良工の施工に先立ち、盛り土が出土される為、予め現地盤を掘削搬出することによって、混在作業を避けることが出来た。空掘りが減った分工事費の削減にも繋がった。
- ・地域住民へ工事への理解・協力をお願いした結果、地元からの苦情等もなく無事工事を完成することができた。さらに資材運搬車両には、他工事現場と明確に区別するため、車両プレートを表示した。裏面には『緊急時連絡表』を添付し連絡体制にも対応した。
- ・現場代理人に女性を配置し、快適トイレや更衣室を設置することにより、現場の環境改善を図ることができた。

15 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（舗装補修） 02-F144-K1		
路河川名/地区名	秋田天王線	施工地名	秋田市土崎港南
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請 負 額	59,222,900 円	工 種 ・ 格 付	舗装 A 級
代 表 者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 村井 聖史		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	齊藤 一人	監 督 員	油座 絵梨
工 期	令和 3年 2月19日～ 令和 3年 5月10日	完成年月日	令和 3年 5月10日
概 要	1) 施工延長 L=667.0m 2) 路面切削工 A=9,670m ² 3) 表層 A=9,670m ²		
特 徴	1) 品質確保のための取り組み 2) 夜間工事での安全対策の工夫		
写 真			
着手前		完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 本工事は主要地方道秋田天王線の舗装劣化に伴う舗装補修工事である。
- ・ マンホール等支障物件があったが、優れた平坦性を確保した。
- ・ 当該路線は国道7号との交差点に接しており、関係機関との協議が必要とされる中、点滅信号に切り替える等の措置により隣接する道路の渋滞を回避した。特に交通量が多く、夜間施工における安全対策を重視される現場であったが、高輝度の工事期間予告看板により事前に周知したことに加え、投光器の設置、プロジェクター投影による車線規制表示を行い、円滑な交通確保に努めた。
- ・ 現場に適した顕著な安全対策を施し、無事故で工事完成したことは評価できるものである。

◆施工業者からのPR

- ・ 春先で夜間舗装だったため品質管理対策として、アスファルト合材の出荷温度を通常より高めに設定するとともに、二重シートによる運搬時の温度低下防止やタイヤローラ装着型温度センサーを利用する等、工夫を施した。
- ・ 安全面では信号機のある交差点間が60mと短かったため、所轄警察署と協議して一方の信号機を点滅運用し、交通誘導警備員での交通誘導を行うことにより、渋滞緩和に努めた。
- ・ 規制箇所から離れた場所でも工事をアピールするため、プロジェクター投影を試行した。
- ・ 今後も地域社会に貢献できるよう、熱意を持って取り組んでいきたい。

16 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	向浜ふ頭用地造成工事 02-Z401-K4		
路河川名/地区名	秋田港向浜地区	施工地名	秋田市向浜
商号又は名称	(株) 沢木組・(株) 伊藤羽州建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	330,288,200 円	工 種・格 付	一般土木 A 級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許 可 番 号	05-005082	監理技術者等	現場代理人 能登谷 孝介
(構 成 員)	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
(許 可 番 号)	05-020143	(監理技術者等)	主任技術者 東海林 友輝
監督実施公所	秋田港湾事務所		
主任監督員	伊藤 浩	監 督 員	佐藤 勝一
工 期	令和 3年 3月19日～ 令和 3年11月26日	完成年月日	令和 3年11月12日
概 要	1) 施工延長 L=70m 2) 基礎工 V=4,832m ³ 3) 被覆石工 A=875m ³ 4) 消波工(8.0t型) N=771個 5) 消波工(16.0t型) N=41個 6) 上部工(H=4.7m) L=60m		
特 徴	1) ふ頭用地造成部の護岸工事 2) 外面に面するため、波浪による自然条件の影響が大きい工事		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事箇所は、外面に面するため波風が非常に強く、気象・海象が作業効率に著しく影響する難易度の高い工事である。
- ・起重機船にGPSを搭載し、船やクレーン先端位置を施工管理ソフトと連動することにより施工の効率化および施工精度の向上を図った。
- ・捨石投入や消波ブロック据付けの施工においては、自社の大型作業船の使用により、捨石1回の積載量が大幅に増え、クレーン旋回範囲も広がったため、現場での船の移動も減り、作業工程が短縮された。

◆施工業者からのPR

- ・外港側での施工であり、捨石投入高さが水面より+2.2mとなっているため、時化による損壊が懸念されたため、本工事で使用する消波ブロックを利用し仮堤防を築堤してから捨石の投入を実施した。これにより時化による捨石損壊は一度も無く、捨石法面へのブロック据付時も、仮堤防から移動するだけで済み、常に損壊を気にせず施工することができた。
- ・上部ブロックの据付に大型スパット式起重機船を使用することにより、波による揺れの影響をほぼ受けず施工を行うことができ、精度の高い据付作業を可能とした。
- ・全施工完了後、UAV測量(空中撮影測量)とマルチビーム深淺測量を実施し、その座標データを合成させ、陸上・水中全体の3D図面を作成し、現場の完成形を確認できるようにした。

17 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	都市公園安全安心工事 02-UA35-10		
路河川名/地区名	県立中央公園	施工地名	秋田市雄和椿川
商号又は名称	千代田電気工業株式会社	許可番号	05-001951
請 負 額	69,498,000 円	工 種 ・ 格 付	電気 A 級
代 表 者	代表取締役 小野地 慎一		
監理技術者等	現場代理人 二木 精一		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	武田 浩一	監 督 員	高橋 洋文
工 期	令和 3年 6月18日～ 令和 4年 1月28日	完成年月日	令和 4年 1月28日
概 要	1) 県立中央公園内青少年教育ゾーンエリアの屋外受電設備の更新 2) 受変電設備（受電盤饋電盤低圧電力低圧電灯4面体2基 3面体1基） 3) 第二受変電設備～第三受変電設備間高圧ケーブル撤去・新設520m		
特 徴	1) 更新工事は公園内冬季閉鎖後に行う工事で雪による影響強く受ける 2) 公園管理事務所・東北電力との工程調整及び場内の安全確保 3) 高圧電気設備・停電・復電における安全対策の徹底適正な施工管理		
写 真			
			
完 成（第一受変電設備）	完 成（第二受変電設備）		完 成（第三受変電設備）

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 機器搬入時に大型クレーンを使用し高所から吊り降ろしたことにより、立木の枝折れを軽減させ自然公園の環境維持に努めた。
- ・ 既存の受変電設備は湿気による内部腐食が著しかったため、基礎内部土間部にコンクリートを打設することで湿気防止対策を行い機器の長寿命化を図った。
- ・ 受変電設備フェンス内通路に碎石を敷均したことにより、雨の日のぬかるみや滑りを無くし安全性の向上を図ると共に、除草の手間を軽減し維持管理のしやすさを向上させた。
- ・ 高圧ケーブル更新の際、自走式緊線ウインチを使用したことで、通常の人力作業に比べて施工時間を大幅に短縮し、工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・ 施工開始が冬季公園閉鎖後となり、積雪や天候不順の影響により工程の進捗が左右されることが予想された為、天気予報を元に工程調整を常に行い、設備機器の搬入搬出や停電復電、監督員立会確認等の各工程の開始時期を決定した。
- ・ 工事箇所が公園内広範囲となる為、停電復電作業計画を作成して、適正な資格者を配置し計画した施工方法に基づき作業員が作業を行うことで感電事故を防止した。
- ・ 各所受電設備のメンテナンス通路部分に碎石を敷均し、足元の改善を図り今後の定期点検を容易に行える様にした。
- ・ 現場周辺の美化の為、中央公園入口付近～アスレチック入口までの清掃活動に努めた。

18 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	環日本海クルーズ施設整備工事 03-0501-10		
路河川名/地区名	秋田港クルーズターミナル	施工地名	秋田市土崎港
商号又は名称	北日本通商株式会社	許可番号	05-003446
請 負 額	7,590,000 円	工 種 ・ 格 付	機械器具設置 A級
代 表 者	代表取締役 小松 弘之		
監理技術者等	現場代理人 田村 隆祐		
監督実施公所	建設部営繕課		
主任監督員	杉山 豪	監 督 員	田口 碩彦
工 期	令和 3年10月 4日～ 令和 4年 3月 3日	完成年月日	令和 4年 2月18日
概 要	1)天井への吊り下げバトン設置 N=1台、L=6m 2)天井へのプロジェクター設置 N=1台		
特 徴	1)既設部との取合を考慮した長尺バトン設置に高い精度を要する工事 2)既存仕上げを保護しながらの作業等、作業上の制約が多い工事		
写 真			
			
施工		完成(吊り下げバトン)	
			完成(プロジェクター)

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は既存建屋が完成した後の追加工事であり、既存天井との取り合いや、既存床インターロッキング仕上げの保護等の難度が高い工事であったが、施工者の適切な施工管理により既存撤去部分を最小限とし、円滑な施工をした。
- ・吊り下げバトンについては、下地鉄骨、仕上げ天井材に対し斜め方向での施工が必要となることに加え、6mの長尺であることから精度確保に高度な施工管理を要する工事であった。
- ・ローリングタワーによる高所での作業が必要であったが、施工業者の適切な安全管理により事故無く工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・全国的な半導体不足による電子機器の入手が困難となっている最中、弊社が長年培ってきている流通販売ネットワークを生かし、設計仕様に見合う材料を入手し滞りなく工事を完成することができた。
- ・吊りバトンの架台設置箇所に想定外の断熱材が確認された際には、架台強度を保ったまま形状変更をする提案により、影響範囲を最小限に留めたこと等、問題発生時の創意工夫により工事の円滑な進捗に努めた。
- ・細かな変更点や現場における問題点が発生した場合には直ちに監督員と連絡を取り合い、現場状況や工事進行状況を常に共有できるよう努めた。

19 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田県（金浦漁場）水産環境整備工事 33302-K01		
路河川名/地区名	秋田県（金浦漁場）	施工地名	にかほ市金浦
商号又は名称	長田建設株式会社	許可番号	05-081700
請 負 額	50,007,100 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 長田 史郎		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 圭吾		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	斎藤 良一	監 督 員	金崎 彩
工 期	令和 2年 9月 4日～ 令和 3年 7月30日	完成年月日	令和 3年 7月28日
概 要	着定基質工 A=0.44ha 製作 N=56基・据付 N=54基 着定基質ブロック（マルチリーフ14.5t/基）		
特 徴	1) イワガキやアワビ漁による工程制約への対応 2) 漁業活動や海洋環境の配慮		

写 真



ブロック製作完了



ブロック据付状況



ブロック据付完了

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、水産資源の生産力の向上と豊かな生態系の維持・回復を図ることを目的に、イワガキやアワビ等を対象とした増殖場の整備を行うものである。
- ・対象生物の産卵期に合わせるため据付時期に制約があったが、ブロック製作の工程管理に常に気を配り、地元漁業者・監督員との連絡を密に行い、必要個数を仕上がり良く完成させた。
- ・沿岸でのブロック製作であったが、冬期の風浪による凍害や潮風による錆等を防止するための工夫を行い、打設作業や養生に支障がなかった。
- ・関係機関や地元漁業者と連携を図り、漁業活動に配慮しながら高い精度で据付を行い工期に余裕をもって完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、ブロック製作が冬期間であったため、コンクリートの品質を確保するために型枠を増設し、工程短縮を図ることにより、厳冬期前に打設を完了することが出来た。
- ・型枠脱型後、コンクリート表面に被膜養生材を塗布し、表面からの水分蒸発を抑えることにより、急激な乾燥収縮によるひび割れを抑制した。
- ・作業ヤードが岸壁付近であったため、風浪・波浪等による型枠の防錆対策として定期的に錆溶解剤を用いての清掃を行い、錆移りの防止に努めた。
- ・施工中の油流出に備え、「緊急用油液処理キット」を現場・船舶に常備配置し、非常時における海洋環境の保全対策に努めた。

20 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	海岸防災対策工事（老朽化対策） 02-MR32-10		
路河川名/地区名	仁賀保海岸（芹田地区）	施工地名	にかほ市芹田
商号又は名称	高橋秋和建设株式会社	許可番号	05-082090
請負額	77,246,400 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 高橋 敦		
監理技術者等	現場代理人 阿部 明広		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	富樫 亨	監督員	加藤 智
工期	令和 3年 4月 1日～ 令和 3年11月30日	完成年月日	令和 3年11月30日
概要	1) 基礎捨石工 V=211m ³ 2) 被覆石工 V=53m ³ 3) 堤体工 V=355m ³ 4) 裏埋土 V=560m ³ 5) 消波工 N=281個 6) アスファルト舗装工 A=278m ²		
特徴	1) 海岸工事であり工事期間が限定される中での創意工夫 2) 地元地域からの要望に対する地域貢献		

写 真



全景（海側より撮影）



全景（陸側より撮影）

◆監督実施公所の推薦理由

- ・平成28年より継続的に実施してきた工事となるが、令和3年度が最終年度であったことから、海岸の仮設工や護岸背後の借地を元の海岸線、公園に復旧する必要があった。
- ・復旧については、地元地域からの度重なる要望に応えるために施工計画の変更が必要となったが、適切な工程管理を行い、工期内に工事を完成させた。
- ・仮設撤去においては、現場代理人自らが計画を見直し、効率的且つ安全性を十分に検討して施工することで、工期短縮・コスト低減を図った。
- ・企業努力による環境保全・美化・地域貢献を積極的に行い、芹田自治会から感謝状を贈呈されるなど、他の模範となるものであった。

◆施工業者からのPR

- ・堤体コンクリートの施工時期が夏季であったため、堤体全面へ含浸性コンクリート養生剤を塗布して乾燥収縮ひび割れの発生を抑制し、コンクリートの品質向上に努めた。
- ・堤体工において使用する型枠剥離剤の海中への飛散・漏洩による環境汚染を防ぐため、自然界に対して無害であるNETIS登録商品の生分解性コンクリート剥離剤を使用した。
- ・安全面においては、VRを使用して工事現場で起こりうる事故を擬似体験することにより、危機管理や安全意識の向上に努めた。
- ・海上条件が悪化する時期になると堤体工及び消波工の施工が困難となるため、使用機械の選定や人員を見直すとともに工程の打合せを密に行うことで、早期に工事完成することが出来た。

2 1 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 02-HF17-30		
路河川名/地区名	国道107号	施工地名	由利本荘市一番堰～上大野
商号又は名称	村岡建設工業株式会社	許可番号	05-082020
請 負 額	102,386,900 円	工 種 ・ 格 付	舗装 A 級
代 表 者	代表取締役 村岡 兼幸		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 実		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	大島 慎也
工 期	令和 3年 4月 1日～ 令和 3年11月30日	完成年月日	令和 3年11月26日
概 要	1) 施工延長502m 2) 置換工420m ³ 、排水構造物工1式 3) 下層路盤（車道・歩道部）1,772m ² 、上層路盤（車道部）2,280m ² 基層（車道部）2,492m ² 、表層（車道・歩道部）9,395m ²		
特 徴	1) 供用している中での一一般車両へ配慮した施工 2) 市街地での近隣住民・店舗に配慮した施工		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、国道107号の4車線化工事における舗装工事である。
- ・交通量が多いなか、交差点を含む煩雑な車線切替を伴うため、事前予告や関係機関との協議を十分に実施し、安全・円滑な交通誘導を実現させた。また、沿線には多くの店舗が立ち並ぶが、入口案内や施工時間帯調整など、営業に対しても十分に配慮し円滑に工事を完成させた。
- ・部分開放時の交通誘導では、新設舗装部分へ痕を残さないよう、粘着テープによる仮区画線設置などの工夫があり、出来映えについても良好となっている。
- ・工事中、当現場を利用し地元高校生に対する育成教育を実施するなど、担い手育成に対しても積極的に評価できるものである。

◆施工業者からのPR

- ・当現場は、市街地（本荘IC及び住宅、店舗、学校等が近接）における一部供用区間のため、交通量が多いことから、地域住民及び一般車両等の第三者災害防止に重点を置き、夜間施工を行ったほか、仮区画線・予告看板等による交通誘導を工夫し、無事故無災害で工事を完成させることができた。
- ・地域住民に対しては、工事開始から規制変更の都度、チラシを配布し作業内容の説明を行うなどのコミュニケーションを図るとともに、店舗前での作業は、営業日・作業時間等の調整を図りながら工事を進めた。

2 2 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	森間地区 ため池整備（ため池）工事 03504-K01		
路河川名/地区名	森間地区	施工地名	仙北市田沢湖梅沢
商号又は名称	株式会社藤村組	許可番号	05-007011
請 負 額	31,412,700 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 藤村 志美子		
監理技術者等	現場代理人 布谷 寿		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 雅人	監 督 員	佐々木 貴大
工 期	令和 3年 7月12日～ 令和 4年 1月28日	完成年月日	令和 4年 1月28日
概 要	1) 堤体工 N=1式 2) 堤体付帯工 N=1式		
特 徴	1) 天候の影響を受けるため、適切な工程及び品質管理 2) 限られたスペースの中での他工事との連絡調整、工程管理		
写 真			
			
完成（上流側）		完成（下流側）	
完成（起点側～終点側）			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・現場状況に応じた施工と適切な施工管理により、優れた出来映えと品質を確保した。
- ・天候の影響を受ける堤体盛土工事であるため、降雨の際は作業を中止し適切な工程管理及び品質管理に努め、作業条件の悪くなる降雪前に堤体盛土工事を完成させた。
- ・限られた作業スペースで他地区工事（神代地区暗渠排水工事、仙北市道拡幅工事）と工程調整を密に行い、工事を完成させた。
- ・施工にあたっては、工期内の一部が営農期間と重複することや下流環境への配慮など様々な事象が存在していたが、関係者と連絡調整を密に行い、工事を完成させた。
- ・基礎地盤が軟弱であり、日々の施工管理により堤体沈下の影響が無いか適切に管理を行った。

◆施工業者からのPR

- ・堤体盛土の品質について、盛土材の含水比管理や試験盛土で決定した施工方法を遵守したことにより、締固め密度及び現場透水試験とも規格値を十分満足し、良質な堤体盛土が完了した。
- ・周辺環境対策として、盛土施工時の仮板柵設置による盛土材のこぼれ防止や取水施設へのパイオログフィルターの設置などで濁水流出防止に努めた。
- ・現地立会いが不可能な場合はドローンの活用により、空撮写真で進捗状況を明確化し打合せに利用したり、写真を掲示し地域住民が進捗状況を把握できるようにした。
- ・地域住民へのチラシ配布による協力依頼や、他地区の工事関係者との連絡調整及び道路清掃・草刈りなどの活動により苦情もなく工事を完了することが出来た。

23 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	鑓田南谷地地区 農地集積加速化基盤整備工事 09502-K07		
路河川名/地区名	鑓田南谷地地区	施工地名	仙北郡美郷町鑓田
商号又は名称	株式会社小田島工務店	許可番号	05-008943
請負額	96,497,500 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小田島 誠		
監理技術者等	監理技術者 佐藤 一美		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	穴倉 利裕	監督員	今川 貴秋
工期	令和 3年 3月29日～ 令和 4年 1月31日	完成年月日	令和 4年 1月31日
概要	1) 整地工 A=4.5ha 2) 用水路工 L= 959m 3) 排水路工 L= 457m 4) 道路工 L= 760m		
特徴	1) 地下水保全を考慮した湧水への対応 2) 埋蔵文化財調査協力及び工程のフォローアップ 3) 清水及びトミヨ属雄物型等への配慮		

写真

【着手前】



【完了】



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 工事広報配布時に湧水状況及び既設暗渠管の位置について聞き取りし、耕区内で湧水が確認された際には、速やかに監督職員と現地立会のうえ地下水観測データ等に基づき断面を提案し、湧水処理を実施した。
- ・ 工事に先立って行われた試掘調査(令和2年11月)において、工区内のほ場3枚に跨がって新たな遺跡が発見され、4～8月にかけて埋蔵文化財調査が行われたことで、調査期間中は施工が出来ない状況であったが、現場工程のフォローアップを行い、工期内に工事を完了させた。
- ・ 工事広報の配布、トミヨ属雄物型保全活動への参加、隣接する「大工・馬洗い清水」の清掃など、地域との信頼関係構築に努めた。

◆施工業者からのPR

- ・ 地域生活に欠かすことの出来ない六郷湧水群の一つ「大工・馬洗い清水」が隣接しており、限りある地域資源の水環境を守る為、汚水・濁水防止対策に努めた。
- ・ 秋田県のレッドリスト絶滅危惧種ⅠA類に指定される希少種「トミヨ属雄物型」の避難活動を関係機関・安全連絡協議会と連携し、生態系の維持と自然環境の保全を図った。
- ・ 整地工の施工中に基盤から湧水が発生したため、監督員と協議を重ね湧水処理を施工した。
- ・ 工区内の埋蔵文化財発掘調査により工程進捗率に影響したが、現場工程のフォローアップを行うことで円滑な工事進捗を図り、無事故無災害で工期内に工事を完成させることができた。

24 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	内小友西部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09302-K11		
路河川名/地区名	内小友西部地区	施工地名	大仙市大曲西根
商号又は名称	有限会社県南開発工業	許可番号	05-010594
請負額	121,753,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 高橋 隆則		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 優太		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	嶋津 光人	監督員	保坂 滉一
工期	令和3年3月29日～ 令和3年12月17日	完成年月日	令和3年11月9日
概要	1) 整地工 A=12.0ha 2) 用水路工 L=1,464m 3) 排水路工 L=2,057m 4) 道路工 L=2,708m		
特徴	1) 本工事区域の一部において後続のパイプライン工事が予定されているため、工程管理が特に重要な工事 2) 人家に隣接するため、工事による影響を最小限とする工事		
写 真			
着手前		完成後	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・NETIS登録技術の出来形写真管理やICT技術(3DCAD、測量アプリ)を活用するなど、施工管理業務の効率化を図り、工期の短縮に積極的に取り組んだ。また、ICT技術を活用することで、施工現場の可視化を図り、測量・丁張りに要する労務が軽減されるなど、時間外勤務の削減に努め、若手技術者の育成・意欲増進に寄与した。
- ・工事区域外の幹線排水路の土砂撤去を行い大雨時の水害を未然に防止するなど、地域貢献に努めた。
- ・田んぼダムの実施による現場内排水の流出調整（ピーク時流出量の抑制）に積極的に取り組み、下流農地や住宅地の洪水被害軽減に寄与した。

◆施工業者からのPR

- ・施工管理業務の効率化を図るため、写真管理について【SiteBox】を活用し、工事写真の撮影と出来形実測値の記録をスマートフォン1台で行い、迅速化・適正化することができた。
- ・測量・丁張り業務において、ICT技術を活用しワンマン測量を実施した。
- ・水路工の3次元施工データを作成し、測量アプリにて位置出をして丁張り作業を行った結果、コスト・人員の削減ができ、作業も円滑に進めることができた。

25 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害復旧等関連緊急工事 01-KE11-10		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請 負 額	377,324,200 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 高橋 正人		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	船木 孝仁	監 督 員	川村 良幸
工 期	令和 2年 3月27日～ 令和 3年 7月30日	完成年月日	令和 3年 6月18日
概 要	1) 施工延長 L=129.9m 築堤盛土工 V=23,400m ³ 2) 植生工 A=3,720m ² 3) 大型連結ブロック A=698m ²		
特 徴	1) 最下流の工区であり、出水時に雄物川からのバックウォーターの影響を著しく受ける工事 2) 近接地に居住地があるため、振動騒音対策が必要な工事		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 淀川復旧等関連緊急事業区間の最下流部工区であるため、雄物川からのバックウォーターの影響を著しく受ける工区であり、施工監理が難しい中での工程の管理・品質の確保をしている。
- ・ 完成したコンクリート構造物に、ひび割れ等が発生しておらず、十分な品質が得られている。
- ・ 工事による振動や騒音に敏感な住民にも理解が得られるよう、率先して新技術を活用して安全管理を行ったことは、他の模範となるものである。

◆施工業者からのPR

- ・ 当現場は淀川工区の最下流に位置しており、雄物川との合流地点に近いので、雄物川からのバックウォーターの影響を受けやすく、集中豪雨による急激な水位の上昇が予想される現場であった。
- ・ 結果的に施工中に3回ほど集中豪雨による大規模な河川氾濫があり、施工区域外の無堤部からも水が浸入したため現場が完全に冠水したが、あらかじめ仮締切の補強を行い、泥水排出のためのポンプを増設した他、場内にたまった泥の清掃や撤去の手順を明確にし、可能な限り速やかに施工を再開できるよう常に準備を整え、自然の猛威を受け入れながら、品質と工期に影響がないようにした。

26 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	河川災害復旧等関連緊急工事 02-KE12-81		
路河川名/地区名	淀川(国道341号)	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	株式会社齋兵組	許可番号	05-009969
請負額	127,234,800 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 齋藤 法		
監理技術者等	現場代理人 渡部 悟		
監督実施公所	仙北地域振興局 (建設部)		
主任監督員	船木 孝仁	監督員	寺田 洋介
工期	令和3年3月29日～ 令和3年12月24日	完成年月日	令和3年12月24日
概要	馬場橋 L=121.4m W=5.5(6.5)m 1)工場製作工 N=1式 2)床版工(RC床版工) N=1式 3)橋梁付属物工 N=1式		
特徴	1)同時期施工の占用工事業者が錯綜する状況での工事 2)年度内供用開始の要望に沿った工程管理が必要な工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 占用事業者 (NTT、電力、大仙市光、大仙市水道) が多数錯綜する状況下での施工であったが、関連事業者との協議を重ね、橋梁添架物施工側の脱型・仕上げを優先することで、占用工事業者が早めに取り組み、馬場橋全体の工程に影響が出ないよう対応した。
- ・ 地元からの早期完成及び供用開始の要望に対応するため、十分な工程検討と作業班の増員等により工程の短縮を図った。
- ・ 地覆コンクリート打設時には降雨が予想されたが、近接工事との関係上、施工日が限定され、打設養生用の屋根設置による打設とすることで、十分な品質を確保した。
以上から、制約が多い中で十分な品質を確保し、工期内に完成したことは他の模範となる。

◆施工業者からのPR

- ・ 土工業者、舗装業者、さらには占用工事業者 (NTT、電力、大仙市光、大仙市水道) と、複数の近接工事があり、各業者が同時期の施工となるため、重複作業にならないよう近接工事業者と定期的な工程調整を行い、占用工事業者の工程に影響が出ないよう努めた。
- ・ 橋梁添架物施工箇所の脱型、仕上げを優先して行い、占用工事業者が早めに取り組みやすいよう配慮した。
- ・ 地元からの早期供用開始の要望や、次期工事の橋面舗装の施工が降雪前に間に合うように引渡さなければならない等、工程管理に気を遣いつつも、重要構造物としての品質管理を行わなければならない、非常に難易度が高い工事であった。

27 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	河川災害復旧助成工事 02-KJ11-40		
路河川名/地区名	樽岡川	施工地名	大仙市南外
商号又は名称	株式会社小笠原組	許可番号	05-060314
請負額	180,667,300円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小笠原 武男		
監理技術者等	監理技術者 加藤 誠		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	船木 孝仁	監督員	佐藤 壮太
工期	令和3年5月31日～ 令和3年12月24日	完成年月日	令和3年12月23日
概要	1) 施工延長 L=420.4m 築堤盛土 V=11,210m ³ 2) 大型連結ブロック A=984m ²		
特徴	1) 道路からの排水対策や隣接する工区との調整が必要な工事 2) 大きく曲がる法線のため、難易度の高い曲線部施工を要する工事		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 終点に向かって大きく曲がる法線となり、変化点が目立つ事が懸念される難易度の高い工区であったが、大変見栄えの良い曲線で堤防を完成させた。
- ・ 樽岡災害復旧工事請負業者で安全協議会を設立し、協議会会長として地元や工区間の調整を図り、災害復旧事業の早期完成に大きく貢献した。災害復旧区間全体の見回りを自発的に行い、各社の大型ダンプ走行による路面の汚れや仮設道路の草刈りについて問題提起し、苦情が来る前に対応した点も評価される。
- ・ 樽岡災害復旧事業の残土処理について、淀川の復旧事業に有効活用する提案をするなど、担当技術者の熱意ある積極的な姿勢が評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・ 植生工を施工するにあたり、盛土材のPhを測定したところph4.0と酸性であったことから、一般的に植物の酸度はph5.5～6.5(弱酸性)なため、フライアッシュを使用したりリサイクル製品の”DF剤1号 土壌安定剤”を散布し、ph6.0まで改善することができた。
- ・ 安全掲示板とともに、地域ラジオ(FMはなび)の看板を設置し、イメージアップ活動を実施したほか、FMはなびを活用し会社独自で、工事完成のお知らせや地域住民へのこれまでのお礼と、監督員の承諾を得て『災害復旧助成工事』の工事概要を、ラジオで情報発信した。ラジオを聴いた地域住民からは、「これからも頼むな」など、たくさんの労いの言葉をいただき、情報発信の重要性を知ることができた。

28 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	前郷線 森林資源循環利用林道整備工事 RG1204A202		
路河川名/地区名	前郷線	施工地名	横手市睦成
商号又は名称	有限会社野崎建設	許可番号	05-070132
請負額	31,114,600 円	工種・格付	一般土木 B級
代表者	代表取締役 野崎 秋夫		
監理技術者等	現場代理人 高橋 一		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	畠山 市成	監督員	菊地 弘輝
工期	令和 3年 3月26日～ 令和 3年11月19日	完成年月日	令和 3年11月19日
概要	1) 林業専用道開設 L=394.6m、W=3.5m 2) 掘削工V=1,574m ³ 3) 盛土工V=428m ³ 4) 法面保護工A=1,457.5m ² 5) ブロック積擁壁工N=2基 6) コンクリート擁壁工N=2基		
特徴	1) 急峻な山間地における林業専用の道路開設工事 2) 掘削及び盛土が主要工種であり冬期施工は困難 3) 片押し施工となる現場（重機の交差に制限有り）		
写 真			
			
完 成(NO.19～)		完 成(ブロック積擁壁工)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事は、地形が急峻な山間地に加え幅員3.5mと狭いため片押し施工となる厳しい現場条件のなか、工期の遅れ、労働災害、地元住民とのトラブルも無く、丁寧な施工管理が行われており、工事の出来映えについても良好である。
- ・起点部は準用河川清水沢川を横断しており、護岸工としてコンクリートブロック積擁壁工及び重力式擁壁工を施工したが、創意工夫によりコンクリート打設時に差し筋補強を行い、擁壁工の強度向上に努め、温度管理と単位水量管理を徹底して行ったことで、コンクリートの品質向上を図っている。
- ・擁壁工等の高所での出来形測定で、ドローンを活用した新たな取り組みを行っている。

◆施工業者からのPR

- ・本工事では、盛土品質向上、護岸施工方法、土壌強酸度対策等、多角的で多くの施工提案を行い、低コスト且つ、高品質な施工を行った。
- ・自然環境への配慮を徹底し、特にホタルをはじめとする希少生物を守る工夫をした。
- ・高所作業を伴う工種では、フルハーネスの安全帯利用を徹底し、ドローンによる安全監視を行った上で安全に施工を行った。
- ・新型コロナ対策として、保健士を目指す看護学生を講師に招き衛生講習を実施し、相互において有意義となる研修を行った。

29 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	寄木地区 復旧治山工事 RG1101A201		
路河川名/地区名	寄木地区	施工地名	横手市大森町八沢木
商号又は名称	有限会社八伸建設	許可番号	05-070003
請 負 額	52,767,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 田中 義広		
監理技術者等	現場代理人 内藤 清		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	畠山 市成	監 督 員	菊地 弘輝
工 期	令和 3年 3月26日～ 令和 3年11月19日	完成年月日	令和 3年11月19日
概 要	1) 治山ダム工【A地区】N=3基 【B地区】N=1基 2) 施設管理道【B地区】L=200.0m、W=3.6m 3) 森林造成 1式		
特 徴	1) 平成29年7月豪雨災害により被災した溪流の復旧工事 2) 不安定土砂が大量に堆積している溪流内での施工		
写 真			
			
被災当時の状況		完 成 (No.3床固工)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事は、平成29年7月の集中豪雨により溪流の溪岸崩壊・浸食が発生し、大量の土砂と流木が土石流化し直下の市道や林道、農地に甚大な被害をもたらした溪間の復旧工事である。
- ・不安定土砂が堆積しているなかでの床堀作業は困難を伴うが、簡易井戸を掘り常時ポンプで汲み上げることで地下水位低下による湧水対策を行い、適切なコンクリート打設による施工に努め、徹底した温度管理によりコンクリートの品質向上を図っている。
- ・道路に落ちた木や枝葉が安全な通行を妨げるため撤去し、安全対策を講じた。
- ・市道や農地から施工箇所が近いため、現場内の整理整頓がなされていることや、徹底した工程管理と安全管理を行い、無事故で工期内に完成させた。

◆施工業者からのPR

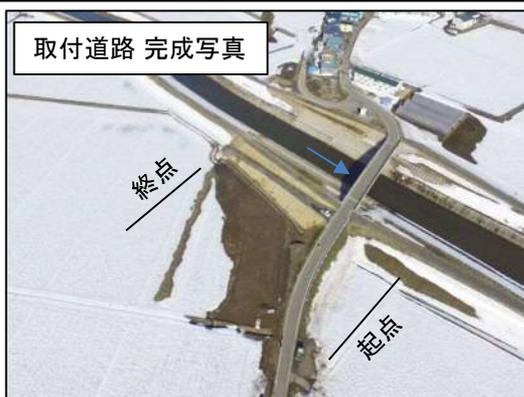
- ・当該工事は、湧水の影響もあり掘削法面が安定しなかったため、監督職員と密に協議を行い施工方法を提案・承諾してもらうことにより、二次災害もなく工事を完成することができた。
- ・近年の異常気象を考慮し、豪雨の発生が多発する7・8月の掘削作業とならないよう工程を検討し、作業の安全確保と効率化を図って施工を行った。
- ・やぶ蚊等の虫刺され対策として携帯用防虫香を配り、快適な作業環境となるよう務めた。
- ・道路に落ちた木や枝葉が通行車両等の安全な通行の妨げになるため、徹底して撤去を行い、安全確保に努めた。

30 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害復旧等関連緊急工事 02-KE20-90		
路河川名/地区名	上溝川	施工地名	横手市大森町上溝
商号又は名称	伊藤建設工業株式会社	許可番号	00-024734
請 負 額	189,843,500 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 中村 清昭		
監理技術者等	現場代理人 渡部 真央		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	堀井 克則	監 督 員	小野寺 裕司
工 期	令和 3年 5月14日～ 令和 4年 3月29日	完成年月日	令和 4年 3月29日
概 要	1) 真山橋 L=40.6m W=5.0(6.2)m 2) 施工延長 L=100m 3) 法覆護岸工 A=1,397m ² 4) 橋梁工 1式 5) 取付道路工 1式 6) 旧橋撤去工 1式		
特 徴	1) 橋梁床版、取付道路、旧橋撤去、築堤護岸などの複数工種工事 2) 近接工区も含めた工程・施工調整の徹底		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、平成29年7月の豪雨で被災した上溝川の河川災害復旧等関連緊急事業である。
- ・橋梁床版、取付道路、旧橋撤去及び築堤護岸と複数工種があったが、近接の水位観測局施工業者や大雪時の更なる工程調整を行い、工期内に完成させた。また、水位上昇による工程遅延がなく、また安全確保のため自主的に鋼矢板の仮締切を実施したことで事故なく完成した。
- ・真山橋床版工事では、夏期の実施工程となり、良好な品質を確保するため、暑中コンクリートを使用し、綿密な打設計画により施工をした。
- ・地域の花壇への散水、上溝川への稚魚の放流など、地域貢献活動も積極的であり、地域住民に感謝されるなど、他の模範となる活動がみられた。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、床版コンクリート打設が6月から7月となり暑中コンクリートでの対応となったが、品質確保のため打設開始時間を6:00とし、外気温が上昇する前に散水養生ができる打設計画で実施した。また、打込み直後の初期ひび割れを抑制させるため塗膜養生剤を使用し、コンクリート養生期間中は配管による24時間散水をし、良質なコンクリート構造物を完成させた。
- ・当現場は『労働災害ゼロ』を目標に掲げ、当初設計の河川仮締切は大型土のうであったが、降雨による水位上昇と、護岸基礎床面までの掘削深が5.0m程あり増水による法面崩壊の懸念があったため、安全確保を第一に鋼矢板による河川の仮締切を行い、作業員の安全確保に努めた。

3 1 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	赤竹地区 ため池等整備（ため池）工事 03803-K01		
路河川名/地区名	赤竹地区	施工地名	雄勝郡羽後町上到米
商号又は名称	株式会社小野建設	許可番号	05-006332
請 負 額	52,929,800 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小野 雅敏		
監理技術者等	現場代理人 武田 祐太		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 哲哉	監 督 員	小武海 隆仁
工 期	令和 3年 3月29日～ 令和 3年11月30日	完成年月日	令和 3年11月30日
概 要	1) 堤体工 N=1式 2) 排水工 N=1式 3) 斜樋工 N=1式 4) 法面工 A=381m ²		
特 徴	1) 工事期間に制約があり、厳しい工程管理が必要な工事 2) 土取場土の自然含水比が高く、乾燥作業後に堤体盛土を施工し、その都度の品質管理を必要とする工事		
写 真			
			
完成イメージ図		施工状況写真(堤体掘削)	
完 成			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は農業用ため池の堤体及び取水施設等の改修工事である。堤体盛土工事においては、自然含水比が最適含水比より高い状態で、乾燥作業が必要であったが、綿密な工程管理を行い、速やかで適切な現場判断により工期限内に完成させている。
- ・盛土時には天候や気温の変動により、厳密な品質管理により、優れた出来映えと品質を確保した。
- ・工事完了後の供用については、近隣住民の意見を取り入れ、企業努力により敷砂利や進入路を造設し、また、高校生の現場見学や地域のクリーンアップ活動をするなど、特に地域貢献度が高い。

◆施工業者からのPR

- ・盛土材の自然含水比が最適含水比より高かったため、乾燥作業後に堤体盛土を施工し、施工時毎に品質管理が必要であったため、炉乾燥法での測定ではなくRI(ラジオアイソトープ)計器を使用したことで、盛土回数ごとにスピーディな施工管理を実現出来た。
- ・施工計画立案に先立ち、ドローン空撮にて座標点群データを取得し現況と計画の照査した。その上で3DCADを使用して、発注者との打合せ、施工図面に利用した。掘削・盛土形状、構造物を『見える化』する事で、完成形を把握でき、円滑に施工を進めることが出来た。
- ・地元関係者から質問等が出る度にきめ細かな立会を行い、丁寧に完成イメージを説明した。また、地元要望を頂いた小型運搬車の進入路等については、将来の維持管理に資するものであったため自社で対応し、結果として地元関係者の方々から感謝の言葉を頂く事が出来た。

3 2 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 03-F158-40		
路河川名/地区名	国道398号	施工地名	湯沢市皆瀬寒沢
商号又は名称	株式会社山田塗料店	許可番号	05-000120
請 負 額	48,341,700 円	工 種 ・ 格 付	一般塗装 A 級
代 表 者	代表取締役 山田 進		
監理技術者等	主任技術者 小林 大晃		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	築瀬 秀樹	監 督 員	三浦 俊明
工 期	令和 3年 8月23日～ 令和 4年 2月 7日	完成年月日	令和 4年 1月28日
概 要	1) 橋梁塗装工 370m ² 2) 支承防錆工 2基		
特 徴	1) 鋼方杖ラーメン橋における脚部の塗装塗替 2) 鉛等の有害物質を含有する塗膜の除去		
写 真			
			
完成（P 1 脚部）		塗膜除去状況	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本事業は、昭和63年に竣工した小安橋の補修及び耐震補強を行うものであり、本工事では、脚部の塗装の塗り替えを行った。
- ・塗装作業においては、足場を階段状に設置する必要があり、塗装作業時の支障が多く、作業条件が厳しいものであったが、安全かつ確実に工事を実施した。
- ・また、既存の塗膜が鉛等の有害物質を含んでいたため、塗膜の除去にあたっては、作業者の安全衛生のため防護具の着用を徹底するとともに、現場外へ有害物質を持ち出さないようクリーンルームを設置するなど徹底した衛生管理を行った。
以上の理由から、他の工事の模範となる現場であり優良工事に推薦するものである。

◆施工業者からのPR

- ・旧塗膜の剥離作業においては、有害物質の少ない水性塗膜剥離剤（NETIS登録）を使用するとともに、作業時における保護具の着用状態などの指導を徹底し、作業員の安全性を考え施工を行った。
- ・塗装工においては、高塗着スプレー塗装工法（NETIS登録）を採用することにより、スプレーミストの飛散防止に努めるとともに、均一な塗膜厚を確保することにより品質向上を図った。
- ・また、吊りチェーン等の盛替え作業の部分補修において、貼る重防食塗料（NETIS登録）を採用し、作業工程の短縮を図るとともに、均一で十分な厚さを確保することにより品質の向上を図った。

3 3 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路等整備工事（補修） 02-G708-10		
路河川名/地区名	国道398号	施工地名	雄勝郡羽後町西馬音内
商号又は名称	株式会社菅組	許可番号	05-007230
請 負 額	32,496,200 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 菅 洋介		
監理技術者等	現場代理人 丹 雅利		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	築瀬 秀樹	監 督 員	高橋 慎也
工 期	令和 3年 8月16日～ 令和 3年12月24日	完成年月日	令和 3年12月 2日
概 要	1) 施工延長 L=29.3m 2) 橋長 L=60.2m 3) 幅員 W=5.5(7.25)m 4) 舗装打換工 A=66m ² 5) 床版打換工 V=12m ³		
特 徴	1) 河川上でのコンクリート取り壊しに対する対策を要する工事 2) 工事期間に制約があり、冬期施工への対策を要する工事 3) 国道398号の交通規制を伴う工事		
写 真			
			
完 成	ウォータージェット工法施工時に ける汚濁水飛散防止養生の工夫	超速硬性混和剤を使用したコンクリート 打設による品質確保の工夫	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、国道398号に架かる西馬音内橋の床版補修工事で、近隣には道の駅うご「端縫いの郷」があり、平日でも多くの観光客が訪れ、交通量が非常に多い中で片側通行規制等を伴うため、周辺への配慮が必要な工事箇所であった。
 - ・床版打換えを行うにあたり、工期の制約により床版切断にウォータージェット工法を採用、河川へ汚濁水流入防止においては、迅速な処理により問題なく完了することができた。
 - ・交通量の多い現道での長期に渡る片側交互通行規制、夜間通行止めにおいてトラブルもなく、工程に制約がある中、降雪前の年内完成目標を達成することができた。
- 以上の理由から、他の工事の模範となる現場であり優良工事に推薦するものである。

◆施工業者からのPR

- ・床版コンクリート切断・取壊しが、ウォータージェット工法による特殊工法での施工となるため、河川への汚濁水流入防止による環境対策が必要となった。そのため、施工箇所足場下に養生を行い、バキューム車で迅速に回収することにより、濁水処理装置(ph・濁度・汚泥)にて円滑な処理となるよう配慮した。
- ・超速硬コンクリートから超速硬性混和剤の使用へと協議により変更したことで、降雪前に施工が完了となり、工程・品質を確保するとともに、コスト低減に繋げることができた。
- ・雄勝建設業協会の女性部会（はなこまち）による現場研修会を開催した。

3 4 第 4 3 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県・市連携文化施設 給排水衛生設備工事		
路河川名/地区名	あきた芸術劇場ミルハス	施工地名	秋田市千秋明徳町
商号又は名称	山二・羽後・沢木・互大特定建設工事共同企業体		
請 負 額	725,371,820 円	工 種・格 付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代 表 者	山二施設工業株式会社 代表取締役社長 阿部 公雄		
許 可 番 号	05-080472	監理技術者等	監理技術者 伊藤 淳也
(構 成 員)	羽後設備株式会社 代表取締役社長 佐藤 裕之		
(許 可 番 号)	05-006094	(監理技術者等)	主任技術者 小松 幸紀
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許 可 番 号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 佐々木 誠治
(構 成 員)	互大設備工業株式会社 代表取締役 脇屋 憲一		
(許 可 番 号)	05-008683	(監理技術者等)	主任技術者 伊藤 直哉
監督実施公所	建設部営繕課		
主任監督員	小松田 強志	監 督 員	伊藤 孝治
工 期	令和元年 5月27日～ 令和 4年 3月10日	完成年月日	令和 4年 3月10日
概 要	1) あきた芸術劇場 (SRC・S造 地上5階地下2階建て 延床面積22,653 m ²) の給排水、衛生器具、消火、雨水利用及び都市ガス設備工事		
特 徴	1) 劇場音響に係る振動絶縁・防振施工及び劇場向け特殊消火設備工事 2) 他受注者 (建築、電気、空調) 3 者との連携・協調を要する工事 3) 雨水利用設備による水資源等の有効利用		
写 真			
 <p>雨水利用設備</p>		 <p>衛生器具設備(多機能トイレ)</p>	
 <p>閉鎖・放水・開放型スプリンクラー設備</p>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・劇場建築の特殊性により、施工難易度は高く、連携・調整を要する関連工事受注者が他3者と多い中、コロナ禍 (秋田県緊急事態措置 [R2. 4. 17] 等) に起因した工程の見直しを要したが、工程フォローアップと技術力を発揮することにより、工期内完成が実現した。
- ・発注者側からの追加工事要望等による工事費増に対し、VE提案により、全体工事費が大幅に増となることの抑制に寄与した。
- ・劇場維持管理者への保守取扱説明書は「関連法規保守、推奨保守、設計コンセプトに由来する注意すべき点」の観点で作成し、健全な施設運営の実現に寄与する内容となっている。

◆施工業者からのPR

- ・3D CADによる総合図作成調整やスパイダープラス導入による図面管理、資料回覧及び工事写真管理を行い、作業の効率化や現場との意思疎通の円滑化及びペーパーレス化を図った。
- ・コロナウイルス感染症防止対策に努め、リモート会議の実施や環境整備を行ったことにより、感染拡大はなかった。また、資機材の製造状況・納期を適時モニターし、適切な工程管理を行うことにより工期内完成を実現した。
- ・劇場としての音響性能確保が重要であるため、遮音層の配管貫通部遮音処理、各防振エリアの防振支持 (躯体との振動絶縁処理) の施工要領の策定及び品質管理を徹底した。

35 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	鹿角トレーニングセンター選手控え室改修等工事 03-N120-10		
路河川名/地区名	鹿角トレーニングセンター	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	小坂建設株式会社	許可番号	05-000105
請 負 額	74,011,300 円	工種・格付	建築一式 A級
代 表 者	代表取締役社長 工藤 繁夫		
監理技術者等	現場代理人 中村 龍太郎		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	秋山 康	監督員	佐藤 純一
工 期	令和 3年 6月 1日～ 令和 3年11月30日	完成年月日	令和 3年11月30日
概 要	1)建物用途 運動施設（ジャンプ台選手控え室） 2)構造・階数 鉄骨造2階建 3)延べ面積 増築部分：61.9㎡、既存部分：146.8㎡		
特 徴	1)ジャンプ台施設とスキー場斜面に囲まれた狭隘な敷地 2)隣接のジャンプ台施設利用者又は見学者に配慮した施工		
写 真			
着工前		完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、建屋位置の制約があり、施工にあたっては作業スペースが狭隘となる箇所があったが、適切な施工管理・安全管理を行うことで円滑かつ安全な進捗に努めた。
- ・関連する別途工事（電気設備工事、機械設備工事）との調整において中心的な役割を担い、効率的な施工に努めた。
- ・ジャンプ台周囲に区画バリケードを設置しジャンプ台施設利用者専用の安全通路を設け、施設利用者の安全と利便性に配慮し、また、設計変更に対応した適切な工程管理に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、現場事務所に空気品質モニター機器を設置し十分な換気に努めた。

◆施工業者からのPR

- ・施設利用者が利用している中でのタイトな工期の工事であったため、適切な施工管理・安全管理を行うことで円滑かつ安全な進捗に努めた。
- ・写真管理や段階確認時の準備などを計画的かつ迅速に行うため、写真撮影に電子小黒板を活用した。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、作業前の体温測定及び作業中のマスク使用に努め、県外からの業者については、事前に移動履歴を確認し、必要に応じて新規入場時に抗原検査を行った。

36 第43回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	小和瀬発電所 大深ダム管理用道路改良工事 02-DK-81		
路河川名/地区名	小和瀬発電所	施工地名	仙北市田沢湖田沢
商号又は名称	佐藤建設株式会社	許可番号	05-002576
請 負 額	56,317,800 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 田村 保		
監理技術者等	現場代理人 田口 祺憲		
監督実施公所	産業労働部公営企業課		
主任監督員	高階 優子	監 督 員	小林 吉仁
工 期	令和 2年 8月21日～ 令和 3年 7月30日	完成年月日	令和 3年 7月30日
概 要	1) 施工延長 64.84m 2) 2号洗越工 1式 3) 鋼製組立網工 1式		
特 徴	1) 急峻な地形による河川水位の急激な上昇 2) 狭隘な管理用道路 3) ツキノワグマ出没地域における施工		

写 真

2号洗越工（上流から）



2号洗越工（下流から）



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、小和瀬発電所の最大取水源である大深ダムへアクセスする管理用道路の渡河施設のうち、「2号洗越工」について河床上昇への対応及び出水時の渡河性向上を目的に、嵩上げ・管径拡大・本数増加を図ったものである。
- ・本工事箇所は玉川源流域に位置し、県内有数の積雪地域で施工時期が限られるとともに、急峻な地形から降雨時には河川水位が急激に上昇するという特徴を有している。
- ・また、管理用道路は狭隘で大型車両による材料搬入は困難である。
- ・このような施工条件に対して、数度の出水にも関わらず工程回復に努めるとともに、小型車への生コン積替えにより円滑な材料搬入体制を確保するなど、課題を克服し工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、国道341号を起点に黒石林道を10km進み、さらにダム管理用道路を2.9km進んだ玉川上流部に位置しており、周辺山地の降雨が集中するため、施工中は度々出水に見舞われ型枠や仮締切りが流出したが、その都度工程計画を見直し、無事に工事を完成することができた。
- ・生コン運搬に際し、管理用道路の狭隘性から黒石林道との分岐部で小型車への積替えを行う現場運搬方法を確立し、施工ロスの低減を図った。
- ・施工箇所周辺ではツキノワグマの出没が相次ぎ、過去には人的被害も発生していることから、工事施工中の安全対策として「感知式害獣対策器」を設置し、熊遭遇回避を図った。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神部秀行
選考委員	総	務	部長	松本欣也
〃	農	林	水産部長	佐藤幸盛
〃	建	設	部長	田中倫英
〃	出	納	局長	奈良聡

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	浅井学
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)	
〃	部	会長 及川洋
〃	専	門委員 徳重英信
〃	専	門委員 後藤文彦
〃	専	門委員 佐藤悟
〃	専	門委員 長谷川兼一
〃	専	門委員 浅野耕一
〃	専	門委員 永吉武志
	(秋田県知事部局関係課室)	
〃	文化振興課長	安田路子
〃	スポーツ振興課長	米田裕之
〃	農地整備課長	大山泰
〃	水産漁港課長	阿部浩樹
〃	森林整備課長	三森道哉
〃	公営企業課長	小林栄幸
〃	参事(兼)港湾空港課長	伊藤邦昭
〃	建設政策課長	三浦卓実
〃	技術管理課長	村上龍巳
〃	都市計画課長	鈴木護
	道路課長	伊勢弘
〃	河川砂防課長	小野潔

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

平成23年4月25日一部改正

平成24年4月1日一部改正

平成28年2月9日一部改正

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P42の名簿参照のこと。

第8回 秋田県優良業務表彰 業務一覽表

測量業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	杉沢柳沢地区 農地集積加速化 基盤整備業務委託 10301-Y05	杉沢柳沢	東邦技術株式会社	石塚 三雄	仙北地域振興局
2	道路災害測量設計業務委託 03-8005-Y1	上郷仁賀保 線	創和技術株式会社	伊藤 隆喜	由利地域振興局
3	県単道路改築事業 地形・路線測 量業務委託 03-I101-Y4	国道103号	株式会社中村設計	中村 博美	鹿角地域振興局

地質調査業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	杉沢柳沢地区 農地集積加速化 基盤整備業務委託 10301-Y08	杉沢柳沢	有限会社伊藤地質調査 事務所	田村 正明	仙北地域振興局
2	地質調査業務委託 02-FI65-YE	本荘大内線	創和技術株式会社	伊藤 隆喜	由利地域振興局

土木設計業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	柵内沢山地区 緊急機能強化・老 朽化対策業務委託 RH1113B311	柵内沢山 地区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	高松 武彦	雄勝地域振興局
2	排水樋管詳細設計業務委託 02-K160-Y4	小阿仁川	東邦技術株式会社	石塚 三雄	北秋田地域振興局
3	河川災測量設計業務委託 03-8004-Ya	太平川 外	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	秋田地域振興局
4	橋梁詳細設計業務委託 02-HF23-Y3	国道105号	セントラルコンサルタント 株式会社 東北支社 秋田営業所	佐藤 大起	仙北地域振興局
5	大森ふ頭用地造成事業 公有水 面埋立申請図書作成業務委託 03-Z801-Y1	能代港	株式会社エイト日本技術 開発 東北支社	長谷川 健	能代港湾事務所

調査点検等業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	地方道路交付金事業(効果促進) 橋梁点検業務委託 02-FI99-Y8	雄勝湯沢線 ほか	柴田工事調査株式会社	五十嵐 誠	雄勝地域振興局

◆業務概要			
委託名	杉沢柳沢地区 農地集積加速化基盤整備業務委託		10301-Y05
地区名	杉沢柳沢		
商号又は名称	東邦技術株式会社		
請負額	9,436,900 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 石塚 三雄		
管理技術者	中村 春夫		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 宗雄	調査員	小田嶋 美和
工期	令和3年8月23日～ 令和4年1月31日	完成年月日	令和4年1月31日
概要	路線測量 L=1.4km		

◆受注者の声

【業務の特徴及び技術的に気を付けた点】
 本業務は、仙北地域振興局管内の杉沢柳沢地区の農地基盤整備業務に伴い、一級河川玉川から取水し、同地区までの管用水路を布設するための路線測量業務である。

業務地は主要地方道「本荘西仙北角館線」の幹線道路上での測量作業で大型車輛の通行も多くカーブが連続する道路区間の路肩での測量作業となるため、交通災害等の安全対策として作業区間への測量看板の設置、保安要員（測量補助員）の配置等、事故防止を最優先に業務を遂行した。

【苦労した点】
 路線測量区間（L=1.4km）には、県道法面とその周辺に草木やヤブ化している箇所が約50%ほど（0.7km）有り、伐採・刈払い作業の実施を要した。

斜面（法面）や排水路等の地形変化を留意し、刈払い機を使用する際は作業前の入念なチェックを行った。また、作業時の周囲への注意喚起を行い事故防止に努めた。

【工夫した点】

- ① 管用水路のルートについて、施工やその後の維持管理等を考慮し県道路肩部と法面部の2案について発注者及び設計業務コンサルとの合同現地調査を実施した。ルート計画地周辺の地形状況や排水路、擁壁等の障害となる構造物の確認を行い位置決定の判断資料を作成しルート決定に結び付た。
- ② 使用する水準点について、異常の有無を確認するため3級水準の点検測量を実施した。用排水路計画での標高値は重要なコントロールポイントとなる為、杉沢柳沢地区全体の整合性を考慮し、平成29年実施の水準点より業務区域までの1.7kmについて、発注者の承諾を得て、自社独自の点検測量を実施し関連性を持たせた。



◆発注公所の所見

本業務は、管用水路を布設するために必要となる路線測量等を行うものである。

現地は見通しの悪いカーブが連続する区間のうえ草木が繁茂している状況のため、測量自体も困難であったが、監督員及び委託業務受注者との情報共有を密に行い、円滑な業務の遂行に取り組んだ。また、現地の状況に応じた適切な提案があり、そのための資料整理、説明が的確に行われた。

◆業務概要			
委託名	道路災害測量設計業務委託	03-8005-Y1	
地区名	上郷仁賀保線		
商号又は名称	創和技術株式会社		
請負額	10,683,200円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 伊藤 隆喜		
管理技術者	木内 幸雄		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任調査員	三浦 博満	調査員	川井 翔太
工期	令和3年6月4日～ 令和3年7月30日	完成年月日	令和3年7月30日
概要	査定資料作成 L=7.1km		

◆受注者の声

【業務概要】
 業務の対象路線である(一)上郷仁賀保線(にかほ市大竹ほか地内)は、冬期の異常な低温と路盤の支持力低下に起因する道路舗装のひび割れ等の被害(令和3年における凍上災)により、通行に支障をきたす恐れが生じている。
 本業務は、当該路線の道路災害査定申請のための調査・測量・設計を行い、路線延長7.1kmの査定資料を作成したものである。

【技術的に気がつけた点及び工夫した点】
 凍上現象による災害は、以下の2種類がある。
 ① 冬期の低温によって道路の路盤等に大きな霜柱が発生し地面が隆起することにより、道路舗装にひび割れなどが発生。
 ② 春の融解期に起こる路盤等の支持力低下により、道路舗装に沈下と亀甲状のひび割れなどが発生。

本業務においては、上記の凍上災における被災の状況を勘案し、当該路線の被災箇所・範囲を特定できる調査手法を提案・実施した。具体的には道路舗装の沈下とひび割れの特徴、ひび割れの深さ方向の進展度合いを確認するための、舗装ひび割れ状況調査、クラック・舗装厚調査である。

【苦労した点】
 工期が2ヶ月弱という短期間での迅速な対応が求められた。よって、厳格な工程管理のもと、手戻りがないよう発注者との意思の疎通を図りながら、限られた時間内で業務を遂行した。

道路舗装のひび割れ・舗装厚・クラックの状況

◆発注公所の所見

本業務は、にかほ市象潟町小滝～院内を結ぶ一般県道上郷仁賀保線の道路災害復旧事業(凍上災)に伴う測量及び災害査定資料の作成業務である。
 災害復旧事業であり、災害査定までの準備期間が短い中、迅速に測量作業・資料作成が行われた。また、クラックの発生状況がよく分かるようにするため、降雨後に被災状況写真を撮影するなど資料作成に工夫がされていた。

◆業務概要			
委託名	県単道路改築事業 地形・路線測量業務委託		03-I101-Y4
地区名	国道103号		
商号又は名称	株式会社中村設計		
請負額	10,032,000 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 中村 博美		
管理技術者	中村 恭道		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	今野 正規	調査員	兎澤 成
工期	令和3年10月15日～ 令和4年3月25日	完成年月日	令和4年3月25日
概要	4級基準点測量 N=36点 現地測量 A=0.11km ² 路線測量 L=1.16km 3級基準点測量 N=1点		

◆受注者の声

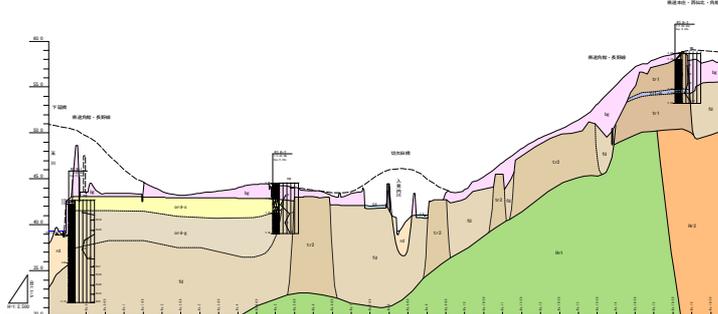
【業務の特徴】
本業務は、国道103号 鹿角市十和田大湯字赤川地内において、道路改築事業の基となる基準点・地形・路線測量を実施したものである。

【業務上の課題と対応策】
本業務は、後続作業となる実施設計業務の基本資料作成が目的であったため既設道路への擦り付けや、既設横断構造物等の位置及び規格寸法等を実施設計業務に反映させるため、N0測点以外の変化点となるプラス杭について、発注担当と密接な協議を行い実施した。また、計画路線の左側（山側）には既設の発電用隧道があり、計画では用地取得で侵害しないようにするとのことであったため、発注担当と協議し調査範囲外の箇所であっても隧道全体の路線把握のために測量を行った。

◆発注公所の所見

本業務は、平面曲線半径が小さく幅員が狭小な道路の詳細設計に必要となる地形測量、及び路線測量等を行うものである。
現地は急勾配のうえ草木が繁茂している状況のため、測量自体も困難であったが施設状況を綿密に調査し把握した。加えて、過年度に実施したスノーシェッド法面測量業務と適切に整合を図り作業を進めたことは高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	杉沢柳沢地区 農地集積加速化基盤整備業務委託	10301-Y08	
地区名	杉沢柳沢		
商号又は名称	有限会社伊藤地質調査事務所		
請負額	5,164,500 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 田村 正明		
管理技術者	高橋 俊美		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 宗雄	調査員	小田嶋 美和
工期	令和3年9月21日～ 令和4年1月28日	完成年月日	令和4年1月28日
概要	地質調査 N=1式 解析業務 N=1式		

◆受注者の声	
<p>【調査概要】 揚水機場等の改修設計に必要な土質調査を行ったもので、揚水機吸水槽・パイプラインNo. 5・No. 15+50・河川横断工で機械ボーリング・標準貫入試験・室内土質試験等を実施した。</p> <p>【課題】</p> <p>①揚水機吸水槽～パイプラインNo. 5間が約0.5km、パイプラインNo. 5～No. 15+50間が約1km離れているが、パイプラインの設計上は路線としての地質の評価が望まれる。</p> <p>②パイプライン側では沖積低地堆積物を細分した「細井ほか（2020）角館地域の地質. 地域地質研究報告（5万分の1地質図幅）. 産総研地質調査総合センター」が発行されているが、路線検討の平面図は500分の1のため、単純に地質図からコンパイルすることは出来ない。</p> <p>③液状化判定では、地下水位が重要な要素となるが、パイプライン地点の調査では孔内水位が確認出来なかった。</p> <p>【課題解決のための工夫点】</p> <p>①路線として地質を評価するため、路線検討の平面図から縦断面図を起し、既存の地質図等を参考に約1.7kmの想定地質縦断面図（下図：A1でV=1:100, H=1:2, 500）を作成した。</p> <p>②既存の地質図からコンパイルするに当たっては、国土地理院の地図・空中写真閲覧サービスを利用した空中写真判読及び現地踏査を行って、500分の1平面図での地層境界を設定した。</p> <p>③融雪期やかんがい期には地下水位が上昇するため、隣接する水田の田面や水路底を参考に液状化判定に用いる地下水位を提案した。</p>	

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、揚水機場施設及びパイプライン等の設計にあたって、地盤状況を確認するために実施した地質調査業務である。</p> <p>同時に発注した測量業務、詳細設計業務と連携しながらの業務であったが、監督員及び委託業務受注者との情報共有を密に行い、円滑な業務の遂行に取り組んだ。また、現地の地盤状況に応じた適切な提案があり、そのための資料整理、説明が的確に行われた。</p>	

◆業務概要			
委託名	地質調査業務委託 02-F165-YE		
地区名	本荘大内線		
商号又は名称	創和技術株式会社		
請負額	5,128,200 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 伊藤 隆喜		
管理技術者	畠山 茂		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任調査員	三浦 博満	調査員	浅野 大貴
工期	令和3年3月26日～ 令和3年9月30日	完成年月日	令和3年9月30日
概要	機械ボーリング（4本） L=44.1m 標準貫入試験 N=44回		

◆受注者の声	
<p>【業務概要】 本業務は、主要地方道本荘大内線の由利本荘市南ノ股相良木地内において、落石防護柵の設計に必要な地盤情報を得る目的で実施したものである。落石防護柵の設置は3箇所（3工区）予定されていた。</p> <p>【業務遂行上の課題】</p> <p>①初回の合同打合せ〔（発注者及び受注者（測量、設計、地質調査）〕で協議された内容を反映させた提案型の地質調査業務の実施が要求された。</p> <p>②工区毎の地盤情報を明確にし、落石防護柵の設計・施工上の留意点を工区毎に取りまとめる必要があった。</p> <p>③地盤情報の共有化及び作業の効率化を図るため、機械ボーリングの掘進状況を発注者と設計担当者に遅滞なく報告する必要があった。</p> <p>【課題の解決に向けて工夫したこと】</p> <p>①合同現地踏査を実施し、工区毎の地形・地質特性の共有化を図り、落石防護柵の設計に必要な追加調査試験を提案・実施した。</p> <p>②地質調査で得られた多くの地盤情報をもとに、地質学的観点から、設計・施工に必要な斜面の特徴、落石の発生形態、地層構成及び設計用地盤定数等を工区毎に取りまとめた。</p> <p>③地盤情報の共有化と手戻り防止のために、当日の機械ボーリング結果を仮柱状図として作成し、翌日の予定作業と一緒に電子メールで報告した。これによって、ワンデーレスポンスに向けた取り組みの充実と作業の効率化を可能とした。</p>	

◆発注公所の所見	
<p>本業務は、落石対策施設の検討にあたって、落石の発生形態・地盤状況を確認するために実施した地質調査業務である。</p> <p>同時に発注した測量業務、詳細設計業務と連携しながら、監督員及び受注者間の情報共有を密に行い、円滑な業務の遂行に取り組んだ。また、ボーリング箇所の追加や対策工法の変更を踏まえた調査方法などが受注者側から提案された。</p>	

◆業務概要			
委託名	柵内沢山地区 緊急機能強化・老朽化対策業務委託		RH1113B311
地区名	柵内沢山地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	9,640,400 円	種別	詳細設計
代表者	理事長 高松 武彦		
管理技術者	阿部 実		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任調査員	藤本 一広	調査員	石川 仁
工期	令和3年5月24日～ 令和4年2月4日	完成年月日	令和4年2月4日
概要	調査・測量・設計・計画作成業務 N=1式 山腹工 A=0.09ha		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】 本業務の対象箇所は、湯沢市を流れる一級河川鉦打沢川の左岸に広がる裏門集落の背後に位置する山腹斜面である。当該斜面には、昭和47年度に土留工・のり砕工・予防柵工が整備されたほか、平成24年度にものり砕工・予防柵工が整備された。これらの施設は現在もその機能を保ってはいるものの、昭和47年度に整備された土留工の一部で亀裂が発生しているほか、冬期には土留工上部からせり出した積雪が隣接する市道に頻繁に落雪していた。このような状況を踏まえ、既存施設の機能強化・老朽化対策にかかる詳細設計を実施した。</p> <p>【業務実施上の工夫点・留意点】</p> <p>①既設土留工撤去にかかるボーリング調査の実施 亀裂が確認された昭和47年度施工の土留工を撤去することとしたが、その後新たに土留を構築する際に末端の掘削を行なうと、背後斜面の風化が激しい箇所が崩落する可能性があると考えられた。この点に留意し、斜面内を5地区に分けて実施したボーリング調査の結果から推定崩壊線を把握することで、対応策を検討するよう工夫した。</p> <p>②土留工からの落雪抑止策の実施 他所管の土留工を調査したところ、背面に1.0mのポケットが設けられており、冬期における積雪のせり出し・落雪抑止に効果を発揮していることが確認された。そこで本業務でも、既設土留工の撤去後に新設する土留工については、背面に1.0mのポケットを設けるよう工夫した。</p> <p>③受圧板+補強土工の実施 平成24年度にのり砕工が施工された斜面内に亀裂が発生しており、当該箇所は岩盤の風化層も厚く崩壊の恐れが高いと考えられた。この点に留意し、現在の法面法枠を補強する受圧板および補強土工を施工することとした。受圧板については、複数案を比較し、施工性や経済性が最もよいものを選定するよう工夫した。</p>	

◆発注公所の所見	
<p>本業務は人家に近接した既存施設の老朽化対策であり、急峻な地形への対策や地域住民への説明等適切な対応が図られ、作業事故や地域からの苦情等も無く、円滑に現地作業を完成させた。また設計業務においては、既存施設の撤去に伴う危険性や、周辺の他所管施設の構造を調査した結果を反映するなど、工事施工期間中の安全や、当該山腹斜面の長期的な安定が十分検討された設計内容となっていた。</p>	

◆業務概要			
委託名	排水樋管詳細設計業務委託		02-K160-Y4
地区名	小阿仁川		
商号又は名称	東邦技術株式会社		
請負額	31,501,800 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 石塚 三雄		
管理技術者	安藤 嘉彦		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	小塚 貴紀	調査員	越前谷 宏昭
工期	令和3年9月10日～ 令和4年3月25日	完成年月日	令和4年3月25日
概要	排水樋管詳細設計 N=1式		

◆受注者の声	
【業務概要】	本業務は、小阿仁川の県単河川改良事業に伴う排水樋管詳細設計である。小阿仁川の河川整備の一環として設けるもので、対象樋管は上流部の3基（19号、20号、21号）である。
【函渠構造】	函渠断面は設計流量に基づいて計算し、最低の1.0m×1.0mの矩形断面となった。函渠構造については、従来からの現場打コンクリートを含めた3案の比較検討を行った。その結果、施工性で優位となる二次製品S Jボックスカルバートを採用した。これは、受け挿し構造でつなぎ、変位が1箇所に集中しないで分散されるので高い函軸たわみ性を有する柔な構造となる。下水道関連でよく採用されているものである。先の東日本大震災の時にも亀裂や破砕などの被害はなく、これまで設置された多くの施設が安全な状態であることが確認されている。
【ゲート選定】	現在の主流となっている門柱レス無動力自動開閉式のものとした。これまで多くの実績があり、最も信頼性が高いといえるバランスウエイトゲートを採用した。平常時は下部が開いた状態を保っており、水がスムーズに流れてゴミ詰まりを防ぎ、排水維持の高いものである。
【防護柵】	従来から採用されてきた鋼製の防護柵に対して、経済性で2/5程度の安価な製品を今回採用した。この柵は主に建築や下水道事業等で使用されているものである。高さは1.1mで、歩行者用防護柵に匹敵する構造安定を持っている。
【地震対応】	近年の樋門設計では、その対象とする地震動はレベル2とすることが標準となっている。現地河川周辺は耕地が広がっており、人家は一段高い所に在る。きわめて大きな地震が起きたとした場合、堤内地が浸水する危険性が高まが、浸水が一段高い人家まで及ばず被害ポテンシャルは低いといえる。そのため、対象地震動はレベル1としている。

◆発注公所の所見	
	小阿仁川に設置する樋管3基の詳細設計を行うにあたり、これまでの経緯や関連業務等を十分把握し、また、設計上の考え方を明確にまとめた上で、施工時の留意点も考慮に入れるなど、丁寧でわかりやすい報告書がとりまとめられている。 また、設計済み箇所の仮設工法の再検討も行っているが、施工性や経済性を考慮した最適工法を提示するなど、十分な技術力が発揮されていることが評価できる。

◆業務概要			
委託名	河川災測量設計業務委託	03-8004-Ya	
地区名	太平川 外		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	12,430,000 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	鈴木 暁		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 長史	調査員	吉田 雄
工期	令和3年8月6日～ 令和3年11月26日	完成年月日	令和3年11月26日
概要	現地測量 A=0.004km ² 路線測量 L=0.11km 護岸詳細設計 N=2箇所 災害査定資料作成 N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

災害発生から現地査定まで2ヶ月と短期間で災害査定資料を作成し、現地査定を完了する必要があるため、迅速な業務遂行が求められる業務である。復旧工法選定や施工方法について、複数案を検討した上で査定資料を作成するなど、短期間で品質確保しながら現地査定を完了することができた。太平川（愛宕下橋下流）においては、観桜会の開催場所でもあり、桜並木を保全しながら施工する必要があるほか、住宅地が近接しているため、施工スペースが十分に確保できない等の課題に対して、最適な工法を提案できた。

2. 業務において工夫した点

- ①現地調査にUAVを活用し、安全かつ迅速に被災状況の把握と起終点の特定を行い、空中写真を用いた資料を作成することにより、受発注者間でのイメージ共有を行った。
- ②査定の段階から複数の施工計画案を比較検討し、実施設計時の手戻り防止を図った。
- ③災害業務独自の照査要領を作成し、検討・準備の不足等、取りこぼし防止を図った。



①UAV空中写真

項目	案1	案2	案3	案4
概要	[Diagram]	[Diagram]	[Diagram]	[Diagram]
概算	[Table]	[Table]	[Table]	[Table]
メリット	[List]	[List]	[List]	[List]
デメリット	[List]	[List]	[List]	[List]
備考	[Text]	[Text]	[Text]	[Text]

②施工方法比較表

照査要領		照査項目	照査結果	備考
1	照査項目	照査内容	照査結果	備考
2	照査項目	照査内容	照査結果	備考
3	照査項目	照査内容	照査結果	備考
4	照査項目	照査内容	照査結果	備考
5	照査項目	照査内容	照査結果	備考
6	照査項目	照査内容	照査結果	備考
7	照査項目	照査内容	照査結果	備考
8	照査項目	照査内容	照査結果	備考
9	照査項目	照査内容	照査結果	備考
10	照査項目	照査内容	照査結果	備考

③災害業務_照査報告書

◆発注公所の所見

今回の業務の中で太平川においては、背後地が住宅地と観桜会の開催場所となっており、桜並木を保全しながら施工する必要があったことから、施工中の騒音・振動、進入ルート等を十分に考慮した工法や施工機種を選定が求められた。鋼矢板の施工においては、施工箇所から住宅地までの距離が近く、騒音・振動の影響が大きいと考えられたため、鋼矢板打設方法について複数案検討した結果、災害査定では無事査定決定された。

◆業務概要			
委託名	橋梁詳細設計業務委託 02-HF23-Y3		
地区名	国道105号		
商号又は名称	セントラルコンサルタント株式会社 東北支社 秋田営業所		
請負額	52,395,200円	種別	詳細設計
代表者	所長 佐藤 大起		
管理技術者	青木 佑介		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	薄田 智英	調査員	小林 勇
工期	令和3年9月17日～ 令和4年3月30日	完成年月日	令和4年3月30日
概要	鋼橋上部工詳細設計（鋼単純曲線箱桁橋L=65m）N=1橋 橋台工・橋台基礎工詳細設計（逆T式橋台、場所打ち杭）N=2基 土留工詳細設計 N=2基、補強土詳細設計 N=2箇所 道路詳細修正設計BIM/CIMモデルの活用 N=1式、三次元点群測量 N=1式		

◆受注者の声

◆業務の特徴、着眼点
 本業務は国道105号と秋田内陸縦貫鉄道の交差部に架かるこ線橋の詳細設計を実施したものである。また、本業務は建設生産プロセスの効率化と省力化を担うBIM/CIMモデルを活用した県内第一号の橋梁詳細設計であり、作成した3次元モデルは交差する鉄道管理者協議の円滑化と迅速化を目的とした「対外説明（可視化による関係者協議）」と「4Dモデル（時間情報を付与した施工計画の確認）」を検討した。

なお、本橋はこ線橋のため、以下に着眼して業務を遂行した。

- ・秋田内陸縦貫鉄道に対する近接影響の緩和
- ・維持管理性に配慮した橋梁計画と耐久性の向上
- ・橋梁上部工と下部工のコストバランスに留意した橋梁計画

◆着眼点に対する工夫点、苦労した点

<橋台位置・形式、基礎形式の検証>

- ・橋台位置は橋台前面に維持管理スペースを確保することで内陸線との離隔を確保し、近接影響の緩和と維持管理性の向上を図った。
- ・橋台基礎は直接基礎から杭基礎に変更することで橋台高の縮小を図り、掘削に伴う鉄道近接施工の影響を緩和した。
- ・橋台高の縮小により逆T式橋台の採用を可能とし、下部工コストの大幅な縮小を可能とした。

<耐久性向上を目的とした細部構造の検証>

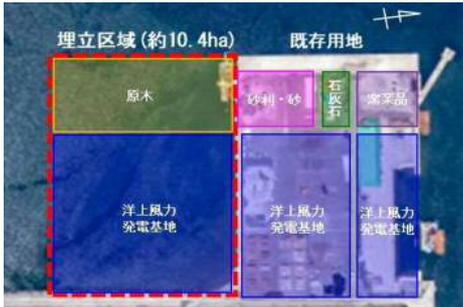
- ・主桁は大型車による車輪の軌跡が床版に影響を与える範囲に配置し、床版の疲労耐久性の向上を図った。
- ・損傷が発生し易い橋座部や損傷原因の一つになりやすい排水施設は当該部の耐久性向上が期待できる新技術・新工法を積極的に活用することで高耐久化を図った。



◆発注公所の所見

予備設計の再検証、下部工・基礎工形式及び架設工法の見直しを行い、建設コストの縮減及び鉄道近接施工の影響を緩和した。また、上部構造は主桁数・主桁配置・桁高・箱幅など条件を細かく変えた20パターンを比較し、最適な上部構造を選定するなど、高いコスト意識を持って業務に取り組んだ他、難度の高い曲線橋の設計、耐久性向上のための新技術・新工法の積極的な活用、BIM/CIMモデルを活用した対外協議等、十分な技術力を発揮して業務を完成させた。

◆業務概要			
委託名	大森ふ頭用地造成事業 公有水面埋立申請図書作成業務委託 03-Z801-Y1		
地区名	能代港		
商号又は名称	株式会社エイト日本技術開発 東北支社		
請負額	23,849,100 円	種別	予備設計
代表者	支社長 長谷川 健		
管理技術者	森本 茂之		
発注公所	能代港湾事務所		
主任調査員	藤枝 雅利	調査員	千葉 雄大
工期	令和3年6月18日～ 令和4年3月25日	完成年月日	令和4年3月25日
概要	埋立願書作成 N=1式 環境図書の作成 N=1式		

◆受注者の声	
<p>本業務は、土地造成事業による公有水面埋立免許願書を作成したものである。本業務での留意点、苦労・工夫した点は以下の通りである。</p> <p>1. 多面的観点からの埋立必要理由の整理 能代港の土地造成事業では、洋上風力発電による再生可能エネルギーの利活用が第一課題であった。埋立必要理由書では、能代港での再生可能エネルギーの展望を整理し、新たに建設される洋上風力発電基地の面積、取扱貨物ピーク時の蔵置量からストックヤードの面積を算定し、埋立規模の根拠を整理した。また、上記課題に加え、航路埋没や航路・泊地の増深に伴う浚渫土の処分場の確保という課題も抱えており、発生土砂量の情報収集・整理により埋立規模の根拠とするなど、多面的な観点から埋立必要理由を整理した。</p> <p>2. 段階別施工図を用いた環境変化の予測・評価 埋立工事では、施工内容により稼働区域や稼働機械が異なるため、工事に伴う大気質、騒音・振動の予測では、施工工程と進捗状況に合致した条件設定が課題であった。しかし、業務着手時点で得られた情報は断片的であったため、港湾埋立工事に関する知見を活かして段階別施工図を作成して予測条件の設定を実施した。検討の結果、工事に伴う大気質、騒音・振動の予測は「護岸工」時及び「埋立工」時に区分が可能と判断し、これに基づいた予測・評価を実施した。</p> <p>3. 管理項目の設定及び適切な工程管理・関係機関調整 埋立工事は次年度着工が予定されており、年度末までに埋立承認を得る事が必須であった。本業務は、外周護岸詳細設計(別業務)と同時進行していること、関係機関(秋田県環境部局・国土交通省)の事前確認が必要であることから、適切な工程管理が課題であった。解決策として、業務着手時から承認までの管理項目(関係機関調整、審査、縦覧、市町村意見、議会)における必要な期間を設定し、各段階で適切な工程管理を行い、年度内に承認を得ることが可能となった。</p>	 <p>土地利用計画図(大森ふ頭)</p>

◆発注公所の所見	
<p>本業務は能代港大森ふ頭用地造成に伴い、公有水面埋立が行われることから、公有水面埋立法第2条に基づく手続きに必要な願書を作成する業務である。</p> <p>公有水面埋立免許願書作成において、限られた日程にも関わらず、作成資料の精度が高いため、関係行政機関との調整がスムーズであった。</p>	

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（効果促進）橋梁点検業務委託		02-FI99-Y8
地区名	雄勝湯沢線 ほか		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	13,130,700 円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 五十嵐 誠		
管理技術者	澤田 達夫		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	築瀬 秀樹	調査員	近藤 洋平
工期	令和3年7月26日～ 令和4年3月25日	完成年月日	令和4年3月25日
概要	橋梁点検 N=41橋 橋梁補修設計（床版補修設計） N=1橋		

◆受注者の声

【業務の特徴】
 ○点検効率の高い機材を使用し、精度の高い近接目視点検を実施することができた。
 ○ダム建設工事の重要となる橋梁において、床版補修設計を行い、補修施工までを短期間にする
 ことで、工事用車両の通行を妨げることがないようにした。

【課題】
 ○ドローン点検などの新技術が進むなかで、現場環境が整わなければ採用できない場合も多い
 ため、現場をよく精査し、その条件に適合した技術を適切に使用することが求められた。

【苦労した点・工夫した点】
 ○工事業者と出合い丁場となる場合には、事前に協議し日程調整を確実にすることで、両者の作
 業や工程の妨げにならないようにした。
 ○点検が困難な現場においても、周辺環境や現地状況に合わせ、適切な方法を見つけ出すことで
 近接目視点検が行えるようにした。



9.9mリフト



ロープアクセス



架設足場（出合丁場）



BT-200



32mリフト



BT-110



磁粉探傷試験



跨線橋立合

◆発注公所の所見

本業務は、橋梁の劣化・損傷状況を把握するための点検業務であり、現地条件を的確に整理し、迅速に関係機関との協議・調整を行った。点検時の適切な交通管理及び安全管理により、通行車両及び点検者の安全を確保し、確実な橋梁点検を実施した。

地元小学生を対象にした体験学習に参加し、モルタル施工体験、重機乗車体験、ドローン空撮等を実施し、建設産業の担い手確保およびイメージアップに貢献したことは高く評価できる。

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神部	秀行
選考委員	総	務	部長	松本	欣也
〃	農	林	水産部長	佐藤	幸盛
〃	建	設	部長	田中	倫英
〃	出	納	局長	奈良	聡

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部	建設産業振興統括監	浅井	学
幹事	農地	整備課長	大山	泰
〃	森林	整備課長	三森	道哉
〃	建設	政策課長	三浦	卓実
〃	技術	管理課長	村上	龍巳

秋田県優良業務表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評定が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されていないこと。
- (5) 当該企業において労働災害がないこと。
- (6) 他の模範となるものと認められる業務であること。

(選考委員会)

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表彰)

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあつては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

(事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

令和元年5月20日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P56の名簿参照のこと

